

第29回 歯科衛生士 国家試験問題 解答

Table with columns for question number, answer, subject, and a grid of 110 questions and answers for both morning and afternoon sessions.

※出題基準 1 人体(歯・口腔を除く。)の構造と機能 2 歯・口腔の構造と機能 3 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 4 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 5 歯科衛生士概論 6 臨床歯科医学 7 歯科予防処置論 8 歯科保健指導論 9 歯科診療補助論

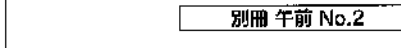
解説 (午前問題)

(問題 1) 下顎骨の写真(別冊午前 No.1)を別に示す。矢印で示す孔を通る神経の役割はどれか。1つ選べ。



選択肢考察 筋突起 関節突起 下顎孔 答え c X a 咬筋の運動 X b 顎下腺の分泌 X c 歯根膜の圧覚 X d 舌尖部の味覚

(問題 2) 頭蓋骨の写真(別冊午前 No.2)を別に示す。矢印で示すのはどれか。1つ選べ。

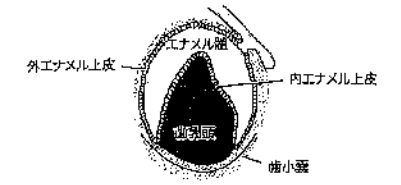


選択肢考察 冠状縫合 矢状縫合 ラムダ縫合 答え b X a 冠状縫合とは前頭骨と左右の頭頂骨の間の縫合である。 X b 矢状縫合とは矢印で示す左右頭頂骨の間の前後に走る縫合である。 X c 鱗状縫合とは側頭骨鱗部と頭頂骨の間の縫合である。 X d ラムダ(人字)縫合とは左右の頭頂骨と後頭骨との間の縫合である。

(問題 3) 鐘状期の歯胚を模式図に示す。矢印で示す部位から生じるのはどれか。1つ選べ。



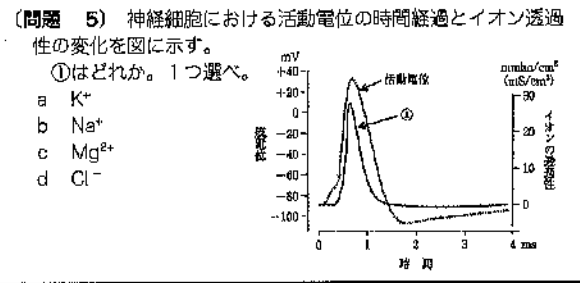
選択肢考察 骨芽細胞 象牙芽細胞 エナメル芽細胞 セメント芽細胞 答え c



X a 骨芽細胞は骨梁表面に存在し、未分化間葉系細胞から分化する。 X b 歯乳頭表層の内エナメル上皮に接する細胞は象牙芽細胞に分化する。 O c 矢印で示す部位は内エナメル上皮で、ここからエナメル芽細胞が生じる。 X d 歯小窩の内層の間葉細胞がセメント芽細胞に分化する。

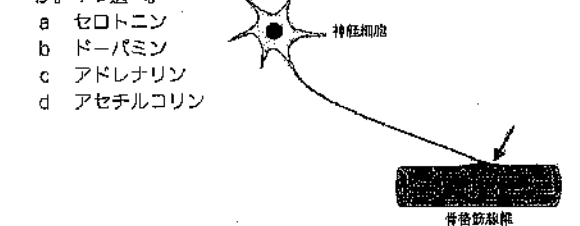
(問題 4) 口腔前庭に開口する唾液腺はどれか。1つ選べ。 a 口蓋腺 b 耳下腺 c 舌下腺 d 前舌腺

選択肢考察 答え b X a 口蓋腺は固有口腔に開口する小唾液腺である。 O b 耳下腺は口腔前庭に開口する大唾液腺である。 X c 舌下腺は固有口腔に開口する大唾液腺である。 X d 前舌腺は固有口腔に開口する小唾液腺である。

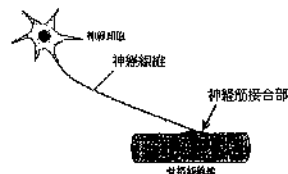


選択肢考察 答え b X a, O b, X c, X d 活動電位の発生時には、Na+に対する膜透過性が増加し、細胞外のNa+が濃度勾配にしたがって細胞内に流入する。 O ①は活動電位の発生とともに膜電位が上昇しているためNa+と考えられる。

(問題 6) 骨格筋と神経の関係を模式図に示す。矢印で示す部位から放出されて、筋線維に作用するのはどれか。1つ選べ。



選択肢考察 答え d a セロトニン b ドーパミン c アドレナリン d アセチルコリン



- × a、× b、× c セロトニン、ドーパミン、アドレナリン、アセチルコリンはいずれも中枢神経系の神経伝達物質である。
- d アセチルコリンは中枢神経系の神経伝達物質であるが、末梢神経系の神経伝達物質でもある。末梢神経系の神経伝達物質には、交感神経のノルアドレナリン、副交感神経、交感および副交感神経、運動神経のアセチルコリンがある。図中の矢印は運動神経神経終末部なので放出されるのはアセチルコリンである。

- 〔問題 7〕 吸息時に収縮するのはどれか。1つ選べ。
- a 横隔膜
  - b 腹直筋
  - c 外腹斜筋
  - d 内肋間筋

選択肢考察 答え a

○ a 吸息時にはたらくのは吸息筋で、横隔膜と外肋間筋がある。通常の吸息では横隔膜が主体で、深い吸息では外肋間筋も収縮する。

× b、× c、× d 腹筋と内肋間筋は胸腔と肺を縮小する呼息筋である。腹筋は安静呼吸時にはほとんど収縮しない。

- 〔問題 8〕 嚥下時に開大するのはどれか。1つ選べ。
- a 鼻咽腔
  - b 喉頭口
  - c 声門
  - d 食道入口部

選択肢考察 答え d

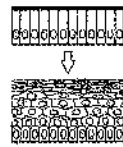
× a 鼻咽腔は嚥下時に閉鎖する。

× b 喉頭口は嚥下時に閉鎖する。

× c 声門は嚥下時に閉鎖する。

○ d 食道入口部は嚥下時に開大する。

- 〔問題 9〕 慢性刺激に対する線毛上皮組織の変化を模式図に示す。この変化はどれか。1つ選べ。
- a 化生
  - b 再生
  - c 過形成
  - d 器質化



選択肢考察 答え a

○ a 線毛上皮、円柱上皮などが、炎症などの慢性刺激に対して図のように扁平上皮に変化することを扁平上皮化生という。

× b 再生とは損傷した組織や器官が復元されることをいう。

× c 過形成(増生)とは組織や臓器を構成する細胞数が増加

することで、組織や臓器の容積が増加することをいう。

× d 器質化とは肉芽組織が病的産物や異物を処理した後、結合組織に置換されることをいう。

- 〔問題 10〕 含菌性嚢胞の特徴はどれか。1つ選べ。
- a 発育性嚢胞である。
  - b 顎骨嚢胞のなかで最も頻度が高い。
  - c 嚢胞腔内に多量の角化物を認める。
  - d 表装上皮はマラッセの上皮遺残に由来する。

選択肢考察 答え a

○ a 含菌性嚢胞は発育性の歯原性嚢胞である。未萌出歯の歯冠を嚢胞腔内に含む。

× b 顎骨嚢胞のなかで最も頻度が高いのは歯根嚢胞である。

× c 嚢胞腔内に多量の角化物を認めるのは類皮嚢胞、類表皮嚢胞、角化嚢胞性歯原性嚢胞である。

× d 表装上皮がマラッセの上皮遺残に由来するのは歯根嚢胞である。

- 〔問題 11〕 予防接種法におけるワクチン接種対象疾病に含まれないのはどれか。1つ選べ。
- a AIDS
  - b 風しん
  - c B型肝炎
  - d インフルエンザ

選択肢考察 答え a

× a AIDS は予防接種法におけるワクチン接種対象疾病に含まれない。

○ b、○ c、○ d 予防接種法におけるワクチン接種対象疾病には、風疹、B型肝炎、インフルエンザ、ジフテリア、百日咳、急性灰白髄炎、破傷風、麻疹、日本脳炎、結核、ヒブ、肺炎球菌(小児)、水痘などがある。

- 〔問題 12〕 核膜をもつのはどれか。1つ選べ。
- a 細菌
  - b 真菌
  - c ウイルス
  - d プリオン

選択肢考察 答え b

× a 細菌は核膜をもたない原核生物である。

○ b 真菌は核膜をもつ真核生物である。

× c ウイルスは DNA あるいは RNA のいずれか一方を有しており、動物、植物、細菌などの細胞に寄生して増殖する。核膜をもたない。

× d プリオンは生物としての特徴を有しておらず、DNA、RNA のいずれも有していない感染性タンパク質因子である。クロイツフェルト-ヤコブ病やウシの海綿状脳症(BSE、狂牛病)の原因とされる。

- 〔問題 13〕 LPS(リポ多糖)の特徴はどれか。1つ選べ。
- a グラム陽性菌に存在する。
  - b Toll 様受容体に結合する。
  - c ホルマリンで無毒化される。
  - d オートクレーブで不活化する。

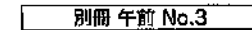
選択肢考察 答え b

× a LPS(リポ多糖)とは内毒素のことで、グラム陰性菌の外膜の最外層を構成する成分である。

○ b LPS は Toll 様受容体に結合する。

- × a ホルマリンで無毒化(トキシソイド化)されるのは外毒素である。
- × d LPS はオートクレーブで不活化することができない。

- 〔問題 14〕 医薬品表示の図(別冊午前 No.3)を別に示す。法令で定められている保管条件はどれか。1つ選べ。
- a 遮光
  - b 施錠
  - c 防湿
  - d 冷蔵

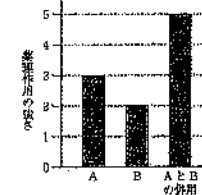


選択肢考察 答え b

× a、○ b、× c、× d

図の医薬品表示は「劇薬」と「麻薬」である。「劇薬」は必ず普通薬と区分して保管しなければならない。一方、「麻薬」は麻薬以外の医薬品(覚醒剤を除く)と区別し、施錠できる堅固な設備内(麻薬金庫)に保管しなければならない。

- 〔問題 15〕 薬物 A と B の単独投与、および A と B を併用したときの薬理作用の強さを模式図に示す。薬物の併用による作用はどれか。1つ選べ。
- a 拮抗作用
  - b 刺激作用
  - c 相加作用
  - d 相乗作用



選択肢考察 答え c

× a 拮抗作用とは薬物の併用により作用が減弱する場合である。

× b 刺激作用とは薬物がすべての細胞の代謝、成長、形態に変化を与える場合をいう。

○ c 相加作用とは図のように作用の強さが薬物 A で 3、薬物 B で 2、A と B の併用で 5 (3+2=5) となっている場合である。

× d 相乗作用は作用の強さが薬物 A で 3、薬物 B で 2、A と B の併用で 5 よりも増強する場合である。

- 〔問題 16〕 全唾液中で安静時に比べ刺激時に増加するのはどれか。1つ選べ。
- a  $K^+$
  - b  $NH_4^+$
  - c  $PO_4^{3-}$
  - d  $HCO_3^-$

選択肢考察 答え d

× a、× b、× c  $K^+$  や  $NH_4^+$ 、 $PO_4^{3-}$  は安静時に比べ刺激時に増加しない。

○ d  $HCO_3^-$  は安静時に比べ刺激時に増加するため、唾液はアルカリ性に傾いていく。

- 〔問題 17〕 歯磨剤の成分で、固体成分と液体成分が分離しないように配合されているのはどれか。1つ選べ。
- a 研磨剤
  - b 粘結剤
  - c 発泡剤
  - d 保存料

選択肢考察 答え b

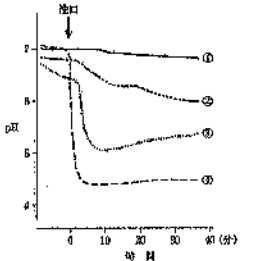
× a 研磨剤は歯垢や色素を除去しやすくするとともに、歯垢の再付着を抑制し、歯の表面を滑沢にし、本来の白さを保つ。

○ b 粘結剤は固体成分と液体成分の分離を防止する。

× c 発泡剤は口腔内に歯磨剤成分を分散させその機能を発揮しやすくするとともに、歯垢などの沈着物の付着力を弱め、効果的に除去できるようにする。

× d 保存料は歯磨剤の変質を防止する。

- 〔問題 18〕 糖質溶液(スクロース、ソルビトール、生デンプン、加熱デンプン)による洗口後の歯垢中 pH 変動曲線を図に示す。加熱デンプンはどれか。1つ選べ。



選択肢考察 答え c

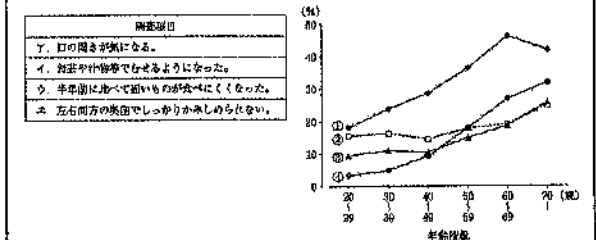
× a ①はソルビトールである。

× b ②は生デンプンである。

○ c ③は加熱デンプンである。

× d ④はスクロースである。

- 〔問題 19〕 平成 27 年国民健康・栄養調査による「食事の様子」についての調査項目を表に、その年齢階級別調査結果を図に示す。



- 調査項目の結果はどれか。1つ選べ。
- a ①
  - b ②
  - c ③
  - d ④

選択肢考察 答え a

○ a ①は左右両方の奥歯でしっかりかみしめられない(工)の結果である。

× b ②は口の渇きが気になる(ア)の結果である。

× c ③はお茶や汁物等でむせることがある(イ)の結果である。

× d ④は半年前に比べて固いものが食べにくくなった(ウ)の結果である。

次の文を読み、(問題 20)、(問題 21) に答えよ。  
60 歳の男性。1 週前に左側舌縁部の状態が周囲とは違うことに気が来院した。疼痛などの自覚症状はみられない。主訴部位を丸で囲んだ写真(別冊午前 No.4)を別に示す。

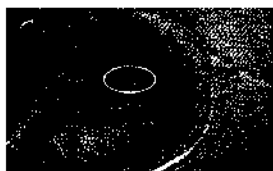
別冊 午前 No.4

(問題 20) 丸で囲んだ部位はどれか。1 つ選べ。

- a 采状ヒダ
- b 舌下ヒダ
- c 有郭乳頭
- d 葉状乳頭

選択肢考察

答え d



舌後部側面

- × a 采状ヒダは舌下面にある舌小帯の外側に位置するヒダである。
- × b 舌下ヒダは舌下面にある舌下腺管の開口部位である。
- × c 有郭乳頭は分界溝の直前に並ぶ大きな乳頭である。
- d 丸で囲まれた部位は葉状乳頭である。葉状乳頭は舌の後部の側面に並ぶ 4～7 条の縦のヒダである。

(問題 21) 主訴に対する適切な対応はどれか。1 つ選べ。

- a 舌清掃を指導する。
- b 舌体操を指導する。
- c 薬用洗口剤の使用法を指導する。
- d 右側舌縁部の状態を患者と一緒に確認する。

選択肢考察

答え d

- × a 口腔内写真から舌の汚れはみられないため、舌清掃を指導する必要はない。
- × b 舌体操を指導する必要はない。
- × c 口腔内写真から舌の汚れはみられないため、薬用洗口剤の使用法を指導する必要はない。
- d 丸で囲まれた部位は葉状乳頭であり両側に存在するため、右側舌縁部の状態を患者と一緒に確認し、問題がないことを説明する。

(問題 22) 平成 27 年学校保健統計調査で親の世代(およそ 30 年前)に比べて児童の被患率が増加しているのはどれか。2 つ選べ。

- a う 歯
- b 結 核
- c 喘 息
- d 裸眼視力 1.0 未満

選択肢考察

答え c d

- × a う歯は親の世代に比べて児童の被患率が減少している。
- × b 結核は親の世代に比べて児童の被患率が減少している。
- c 喘息は親の世代に比べて児童の被患率が増加している。
- d 裸眼視力 1.0 未満は親の世代に比べて児童の被患率が増加している。

(問題 23) トリアージ区分の「赤」はどれか。1 つ選べ。

- a 緊急治療
- b 非緊急治療
- c 死亡または救命困難
- d 治療不要または軽処置

選択肢考察

答え a

- a 緊急治療はトリアージ区分の「赤」である。
- × b 非緊急治療はトリアージ区分の「黄」である。
- × c 死亡または救命困難はトリアージ区分の「黒」である。
- × d 治療不要または軽処置はトリアージ区分の「緑」である。

(問題 24) 障害者や高齢者が、できるだけ健常者と同じ生活が営めるようにしようという理念を表すのはどれか。1 つ選べ。

- a プライマリーケア
- b ノーマライゼーション
- c ハイリスクアプローチ
- d ヘルスプロモーション

選択肢考察

答え b

- × a プライマリーケアは「個人や家族に最初に接する保健医療システム」である。かかりつけ医としての役割を果たすことをいう。
- b ノーマライゼーションは「障害者や高齢者ができるだけ健常者と同じ生活が営めるようにしようという理念」である。
- × c ハイリスクアプローチは「疾患を発生しやすい高いリスクをもった人を対象に絞り込んで対処していく手法」である。
- × d ヘルスプロモーションは「人々が自らの健康とその決定要因をコントロールし、改善することができるようにするプロセス」である。

(問題 25) 人口動態統計の調査項目はどれか。2 つ選べ。

- a 出生・死亡
- b 転入・転出
- c 婚姻・離婚
- d 出国・入国

選択肢考察

答え a c

- a、× b、○ c、× d  
人口動態統計の調査項目は、出生、死亡、死産、婚姻、離婚である。

(問題 26) 歯科医院の感染性廃棄物容器表示を図に示す。

血液の付いたガーゼを廃棄する容器に用いる表示の色はどれか。1 つ選べ。

- a 青
- b 赤
- c 黄
- d 橙



選択肢考察

答え d

- × a 青のバイオハザードマークの容器はない。
- × b 赤のバイオハザードマークの容器には液状や泥状のものを廃棄する。
- × c 黄のバイオハザードマークの容器には鋭利なものを廃棄する。
- d 図はバイオハザードマークである。橙のバイオハザードマークの容器には固形状のものを廃棄する。血液の付いたガーゼは固形状の廃棄物のため、橙のバイオハザードマークの容器に廃棄する。

(問題 27) 感染症予防における感染経路対策はどれか。2 つ選べ。

- a 感染者の治療
- b 防護具の装着
- c 媒介動物の駆除
- d ワクチンの接種

選択肢考察

答え b c

- × a 感染者の治療は病原体対策である。
- b 防護具の装着は感染経路対策である。
- c 媒介動物の駆除は感染経路対策である。
- × d ワクチンの接種は宿主感受性対策である。

(問題 28) 地域保健事業におけるアウトカム評価はどれか。1 つ選べ。

- a 有病率
- b 予算額
- c 実施頻度
- d 対象者数

選択肢考察

答え a

- a 有病率は地域保健事業におけるアウトカム(結果)評価である。
- × b 予算額は地域保健事業におけるストラクチャー(構造)評価である。
- × c 実施頻度は地域保健事業におけるアウトプット(事業実施量)評価である。
- × d 対象者数は地域保健事業におけるアウトプット(事業実施量)評価である。

(問題 29) 新オレンジプランの目的はどれか。1 つ選べ。

- a 少子化対策
- b 認知症対策
- c 生活習慣病対策
- d 新型インフルエンザ対策

選択肢考察

答え b

- × a 少子化対策は子ども・子育て応援プランの目的である。
- b 認知症対策は新オレンジプランの目的である。
- × c 生活習慣病対策は健康日本 21 の目的である。
- × d 新型インフルエンザ対策はグローバルインフルエンザ予防プランの目的である。

(問題 30) 設置が介護保険法に基づくのはどれか。1 つ選べ。

- a 介護老人福祉施設
- b 介護老人保健施設
- c 介護療養型医療施設
- d 老人介護支援センター

選択肢考察

答え b

- × a 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)は「老人福祉法」に基づいて設置され、「介護保険法」で認可を受けた施設である。
- b 介護老人保健施設は「介護保険法」に基づいて設置され、認可を受けた施設である。
- × c 介護療養型医療施設は「医療法」に基づいて設置され、「介護保険法」で認可を受けた施設である。
- × d 老人介護支援センターは「老人福祉法」に基づいて設置され、認可を受けた施設である。

(問題 31) 就業場所別(診療所、病院、市町村、事業所等)の歯科衛生士数の推移を表に示す。

	総数 (人)	①	②	③	④
平成 22 年	103,180	488 (0.5%)	1,978 (2.0%)	4,818 (4.7%)	93,824 (90.1%)
平成 24 年	108,123	522 (0.5%)	2,033 (1.9%)	5,210 (4.8%)	98,116 (90.7%)
平成 26 年	116,299	530 (0.5%)	2,070 (1.8%)	5,882 (5.1%)	105,248 (90.5%)
平成 28 年	123,831	517 (0.3%)	1,952 (1.6%)	6,259 (5.1%)	112,311 (90.6%)

(平成 28 年衛生行政報告例)

病院はどれか。1 つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察

答え c

- × a ①は事業所等である。
- × b ②は市町村である。
- c ③は病院である。
- × d ④は診療所である。

(問題 32) 歯科衛生士の業務はどれか。2 つ選べ。

- a ラバーダム防湿
- b 根管長測定
- c 根管洗浄
- d 仮封

選択肢考察

答え a d

- a、○ d ラバーダム防湿、仮封、楔形印象、スケーリング、ルートプレーニング、ポケット診査、充填物の研磨、暫間被覆冠の撤去などは歯科衛生士の業務である。
- × b 根管長測定は歯科医師が行う。
- × c 根管洗浄は歯科医師が行う。

(問題 33) 主観的情報はどれか。2 つ選べ。

- a 主訴
- b 現症
- c 既往歴
- d 歯周組織検査結果

選択肢考察

答え a c

- a 主訴は主観的情報(患者からの情報)である。
- × b 現症は客観的情報(観察した結果)である。
- c 既往歴は主観的情報(患者からの情報)である。
- × d 歯周組織検査結果は客観的情報(観察した結果)である。

(問題 34) ある中学校が学校歯科医に健康教育を依頼し、歯科衛生士も講話をすることになった。学校歯科医とともに歯周基本治療を行い、良好な結果を得た成人患者の診療記録を媒体に使用することを検討している。

使用にあたり同意を求めるとはどれか。1 つ選べ。

- a 患者
- b 学校長
- c 養護教諭
- d 患者の家族

選択肢考察

答え a

- a 成人患者の診療記録を媒体に使用するので、使用にあたり同意を求めるとは患者である。
- × b 学校長は講話する場所を提供している責任者である。

- × c 養護教諭はの同意は不要である。
- × d 患者の家族は無関係である。

(問題 35) 糖尿病患者の主要症候はどれか。2つ選べ。

- a □ 渴
- b 振戦
- c 多尿
- d 頻脈

選択肢考察 答え a c

- a、○ c 糖尿病では口渇や多尿・頻尿が特徴的に生じやすく、水分の摂取量も増加する。
- × b 振戦はふるえであるが、糖尿病患者の主要症候ではない。
- × d 頻脈は糖尿病患者の主要症候ではない。

(問題 36) 肝機能障害のある患者で高値を示すのはどれか。2つ選べ。

- a Alb
- b ALT
- c AST
- d BUN

選択肢考察 答え b c

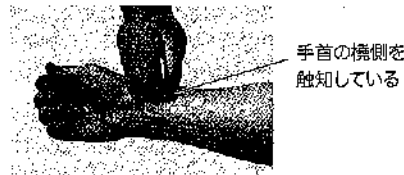
- × a Alb はアルブミンである。肝機能障害のある患者では肝臓でのタンパク質合成が低下するため、Alb は低値を示す。
- b、○ c ALT や AST は主に肝細胞に多く存在する。肝機能障害のある患者では肝細胞の障害によって ALT や AST は高値を示す。
- × d BUN は尿素窒素である。肝機能障害のある患者では肝臓でのアンモニアから尿素への代謝が進まないため、BUN は低値を示す。

(問題 37) 脈拍を測定している写真(別冊午前 No.5)を別に示す。

- 触知しているのはどれか。1つ選べ。
- a 腋窩動脈
- b 上腕動脈
- c 尺骨動脈
- d 橈骨動脈

別冊 午前 No.5

選択肢考察 答え d



手首の橈側を触知している

- × a 腋窩動脈の触知は腋窩で行う。
- × b 上腕動脈の触知は肘関節内側で行う。
- × c 尺骨動脈の触知は手首の尺側で行う。
- d 写真を見ると手首の橈側を触知しており、橈骨動脈を触知していると判断できる。

(問題 38) 歯科用セメントの粉末と液の主成分を表に示す。

粉末	フルオロアルミノシリケートガラス
液	ポリカルボン酸

このセメントの特徴はどれか。2つ選べ。

- a 重合収縮がある。
- b フッ素徐放性を有する。
- c 樹脂含浸層を形成する。
- d 硬化時の感水で白濁する。

選択肢考察 答え b d

- × a グラスアイオノマーセメントは重合反応しない。重合収縮があるのはコンポジットレジンなどである。
- b、○ d 粉末の主成分がフルオロアルミノシリケートガラスで液の主成分がポリカルボン酸の歯科用セメントはグラスアイオノマーセメントである。グラスアイオノマーセメントはフッ素徐放性を有する。また、硬化時の感水で白濁する。
- × c 樹脂含浸層を形成するのは接着性レジンである。

(問題 39) 65歳の男性。下顎左側第一大臼歯の痛みを主訴として来院した。30年前に治療を受けたという。1週前から一過性の冷水痛を自覚しているという。検査の結果、う蝕治療が行われることになった。口腔内写真(別冊午前 No.6)を別に示す。歯科医師より矢印で示す修復物を除去するので、水の入った密閉容器を準備するように指示を受けた。

- この修復物はどれか。1つ選べ。
- a 銀合金
- b コバルトクロム合金
- c 金銀パラジウム合金
- d 歯科用アマルガム合金

別冊 午前 No.6

選択肢考察 答え d



修復物表面は粗造で光沢はない

- × a、× b、× c 銀合金やコバルトクロム合金、金銀パラジウム合金の除去の際に水の入った密閉容器を準備する必要はない。
- d 歯科用アマルガム合金の除去の際には、環境汚染を考慮し、アマルガムを下水に流さないように注意して除去し、水の入った密閉容器に保存する。したがって、この修復物はアマルガム合金と考えられる。

(問題 40) 53歳の男性。上顎左側側切歯の審美障害を主訴として来院した。5年前に治療を受けたという。1年前に気付いたが痛みがないため放置していたという。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.7)を別に示す。

考えられる原因はどれか。2つ選べ。

- a □ 呼吸
- b 研磨の不足
- c オーバーフィリング
- d 過度のスクーリング

別冊 午前 No.7

選択肢考察

答え b c



歯頸部に修復物が存在し、その周囲にやや幅の広い褥線がみられる

- × a □ 呼吸によって褥線は生じない。
- b、○ c 修復物の周囲にみられるやや幅の広い褥線であるため、研磨の不足やオーバーフィリングが考えられる。
- × d 過度のスクーリングによって褥線が生じることはない。

(問題 41) 歯髄疾患で温熱痛を特徴とするのはどれか。1つ選べ。

- a 歯髄充血
- b 急性単純性歯髄炎
- c 急性化膿性歯髄炎
- d 慢性増殖性歯髄炎

選択肢考察 答え c

- × a 歯髄充血は一過性の冷水痛が生じる。
- × b 急性単純性歯髄炎は冷水痛が生じる。
- c 急性化膿性歯髄炎は温熱痛が特徴である。
- × d 慢性増殖性歯髄炎は冷温刺激にはあまり敏感に反応しない。

(問題 42) 67歳の男性。歯痛を主訴として来院した。下顎左側第二大臼歯に大きな窩を認め、根管治療が行われることになった。処置中の口腔内写真(別冊午前 No.8)を別に示す。丸で囲んだ部分の目的はどれか。1つ選べ。

- a 接触点の回復
- b 薬液の漏出防止
- c 歯間乳頭部の保護
- d 感染象牙質の再石灰化

別冊 午前 No.8

選択肢考察 答え b



レジン隔壁が形成されている

- × a レジン隔壁は接触点の回復を目的にしたものではない。
- b 大きな窩を認める根管治療の際に、ラバーダム防湿の封鎖性を向上させるためにレジン隔壁を形成する。したがって、薬液の漏出防止はレジン隔壁の目的の1つといえる。
- × c レジン隔壁は歯間乳頭部の保護を目的にしたものではない。
- × d レジン隔壁は感染象牙質の再石灰化を目的にしたものではない。

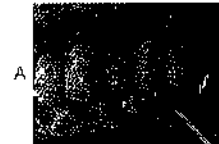
(問題 43) 63歳の女性。下顎左側第一大臼歯の違和感を主訴として来院した。検査の結果、慢性歯周炎と診断された。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.9A)、エックス線写真(別冊午前 No.9B)および歯周組織検査結果の一部(別冊午前 No.10)を別に示す。

分岐部に行うと考えられる処置はどれか。1つ選べ。

- a ヘミセクション
- b ルートセパレーション
- c ルートアンブレーション
- d ファーケーションプラスチック

別冊 午前 No.9 A、B No.10

選択肢考察 答え b



歯	アブチメントレベル (mm)	7	7	9
歯	EPD (mm)	①	②	③
歯	根長 (mm)	36	36	36
歯	EPD (mm)	④	⑤	⑥
歯	アブチメントレベル (mm)	7	7	9
歯	根長 (mm)	36	36	36
歯	根長 (mm)	36	36	36
歯	根長 (mm)	36	36	36

根分岐部は露出していない  
根分岐部の骨吸収がみられるが、歯根周囲の歯槽骨は残存している

- × a ヘミセクションは下顎第一大臼歯で1根のみ歯根を歯冠とともに分割除去する方法である。本症例は歯根の保存が可能であり適切ではない。
- b ルートセパレーションは主に下顎第一大臼歯の2~3度の根分岐部病変で歯根の保存が可能な症例に用いる。本症例に行う処置として考えられる。
- × c ルートアンブレーションは上顎第一大臼歯で保存できない歯根のみを切断除去する方法である。本症例は下顎第一大臼歯であり適切ではない。
- × d ファーケーションプラスチックは1度の根分岐部病変に用いる。本症例は2度であり適切ではない。

(問題 44) 48歳の女性。下顎右側臼歯部の腫脹を主訴として来院した。慢性歯周炎と診断され、歯周基本治療後に歯周外科処置が行われた。術中の口腔内写真(別冊午前 No.11)を別に示す。

矢印で示す部位に使用するのはどれか。2つ選べ。

- a ラウンドバー
- b カーランドメス
- c シュガーマンファイル
- d カーボランダムポイント

別冊 午前 No.11

選択肢考察 答え a c



矢印の部位はフラップ手術中にみられた骨鋭縁部である

- a、○ c 矢印の部位は骨鋭縁部であり、ラウンドバーやシュガーマンファイルで骨切除・整形を行うとよい。
- × b 歯周外科処置で、カーランドメスは歯肉の切除に用いる。

× d 歯周外科処置で、カーボランダムポイントは歯肉整形に用いる。

(問題 45) 60歳の男性。下顎左側大白歯部の歯質欠損による咀嚼困難を主訴として来院した。下顎左側第一大白歯に対して全部金属冠による治療が行われた。上下顎印象採得後に行った操作時の写真(別冊午前 No.12A)と操作後の写真(別冊午前 No.12B)を別に示す。

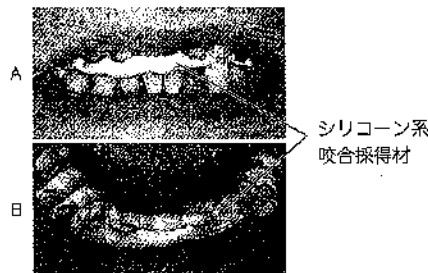
この操作でわかるのはどれか。1つ選べ。

- a 筋機能
- b 咬合力
- c 顎間関係
- d 咀嚼機能

別冊 午前 No.12A,B

選択肢考察

答え c



シリコーン系咬合採得材

- × a 筋機能は舌圧測定器、口唇閉鎖力計測器などを用いて検査する。
- × b 咬合力は咬合力測定システムを用いて感圧シートを噛ませると把握できる。
- c 行っている操作はシリコーンラバーによる咬合採得なので、顎間関係を記録している。
- × d 咀嚼機能はグルコース分析装置で検査できる。グルコース含有グミゼリー咀嚼時のグルコース溶出量を測定するための装置である。咀嚼能率を測定する咀嚼能力検査である。

(問題 46) 55歳の男性。上顎右側臼歯部の欠損による咀嚼障害を主訴として来院し、補綴歯科治療が行われた。模型に装着した補綴装置の写真(別冊午前 No.13A)とある操作中の補綴装置の写真(別冊午前 No.13B)を別に示す。

Bの操作で確認するのはどれか。2つ選べ。

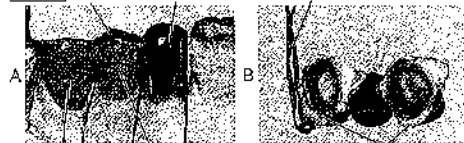
- a 冠辺縁適合度
- b 冠内面適合度
- c 冠内面研磨状態
- d 冠隣接接触関係

別冊 午前 No.13A,B

選択肢考察

答え a b

④ ③ プリッジ 全部金属冠 誤嚥防止のためのデンタルフロス



レジン前装冠 ポンティック 適合試験材

- a、○ b シリコーンペースト状の適合試験材で冠辺縁適合度、冠内面適合度を確認している。
- × c 冠内面はそもそも研磨しない。
- × d 冠隣接接触関係はコンタクトゲージで確認する。

(問題 47) 義歯床口蓋部の材質が異なる2種類の全部床義歯の写真(別冊午前 No.14A,B)を別に示す。

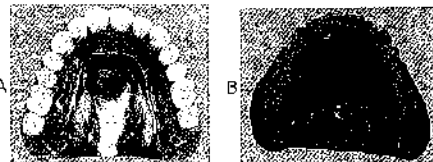
AがBよりも優れているのはどれか。2つ選べ。

- a 強度
- b 吸水性
- c 弾力性
- d 熱伝導性

別冊 午前 No.14A,B

選択肢考察

答え a d



金属床義歯 レジン床義歯

- a、○ d 金属床義歯(A)はレジン床義歯(B)よりも強度、熱伝導性、適合性に優れている。
- × b 金属床義歯には吸水性がない。
- × c 金属床義歯には弾力性がない。

(問題 48) 硬質レジンジャケット冠による補綴治療の過程で用いる装置の写真(別冊午前 No.15A)と模型に装着した装置の写真(別冊午前 No.15B)を別に示す。

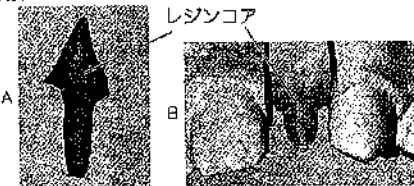
この装置を用いる目的はどれか。2つ選べ。

- a 歯列の保全
- b 審美性の改善
- c 残存歯質の保護
- d 歯質の汚染防止

別冊 午前 No.15A,B

選択肢考察

答え b c



レジンコアによる支台築造

- × a 隣接歯と接触していないレジンコアに歯列を保全する役割はない。
- b メタルコアに硬質レジンジャケット冠を装着すると、金属が透過して審美性を損なうことがある。一方、レジンコアは透過しても歯冠色なので、審美性の改善につながる。
- c 支台築造することで残存歯質の保護につながる。
- × d レジンコアに歯質の汚染を防止する役割はない。

(問題 49) 口腔粘膜と皮膚に色素沈着がみられるのはどれか。1つ選べ。

- a Down syndrome (ダウン症候群)
- b Sjögren syndrome (シェーグレン症候群)
- c Peutz-Jeghers syndrome (ポイツ・イエーガー症候群)
- d Treacher Collins syndrome (トリーチャー・コリンズ症候群)

選択肢考察

答え c

- × a ダウン症候群は蒙古人様顔貌、精神薄弱、溝状舌、歯の欠損、萌出遅延、高口蓋、口蓋裂、先天性心疾患などを特徴とする。色素沈着はみられない。

× b シェーグレン症候群は乾燥性角結膜炎、口腔乾燥(唾液分泌機能低下)、唾液腺腫脹などを特徴とする。色素沈着はみられない。

○ c ポイツ・イエーガー症候群は口腔粘膜、顔面、指掌、皮膚、多発性点状色素斑、消化管ポリープなどを特徴とする。色素沈着を伴う疾患には、ほかにAddison病、Albright症候群、von Recklinghausen病などがある。

× d トリーチャー・コリンズ症候群は鳥鼠、眼裂の外下方傾斜、耳介奇形、外耳道閉鎖、上下顎骨や頬骨発育不全、小顎症、高口蓋、歯列不正、口蓋裂、心疾患などを特徴とする。色素沈着はみられない。

(問題 50) 45歳の女性。舌の異常に気が来り来院した。3か月前に気付いたが痛みがないため放置していたという。白板症と診断された。口腔内写真(別冊午前 No.16)を別に示す。

臨床的特徴はどれか。1つ選べ。

- a 出血をとまなう。
- b 潰瘍形成がみられることが多い。
- c 擦過しても容易に除去できない。
- d 周囲組織との境界が不規則で不明瞭である。

別冊 午前 No.16

選択肢考察

答え c



境界明瞭な白斑

- × a 白板症は出血をとまなわない。舌癌では出血をとまなうこともある。
- × b 白板症では潰瘍形成がみられない。舌癌では潰瘍形成がみられることが多い。
- c 白板症の白斑は擦過しても容易に除去できない。カンジダ症の白斑は容易に除去できる。
- × d 白板症は周囲組織との境界が明瞭である。舌癌では境界が不規則で不明瞭である。

(問題 51) 26歳の女性。下顎前歯部の違和感を主訴として来院した。2か月前に気付いたが、痛みがないため放置していたところ、徐々に大きくなってきたという。現在妊娠16週であり、全身疾患はない。口腔内写真(別冊午前 No.17)を別に示す。

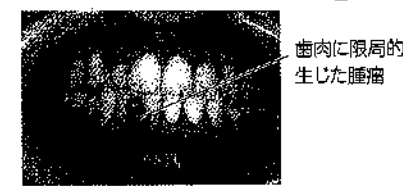
患者への説明として適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 間食は避けて下さい。
- b 出産後はさらに大きくなります。
- c 症状に変化があっても様子を見て下さい。
- d ていねいなブラッシングを心がけてください。

別冊 午前 No.17

選択肢考察

答え d



歯肉に限局的に生じた腫瘍

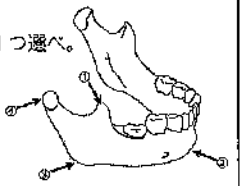
妊娠性エプーリスと考えられる

- × a 妊娠中における無痛性の歯内の腫瘍から妊娠性エプーリスと考えられる。したがって、間食を避ける必要はない。
- × b 妊娠性エプーリスは出産後に縮小、消失する。
- × c 症状に変化があれば来院してもらおう。
- d ブラッシング指導などの口腔衛生指導を行い、経過観察する。

(問題 52) 下顎骨を模式図に示す。

軟骨性成長を示す部位はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



選択肢考察

答え d

- × a、× b、× c、○ d 下顎骨で軟骨性成長を示すのは下顎頭であるため④である。

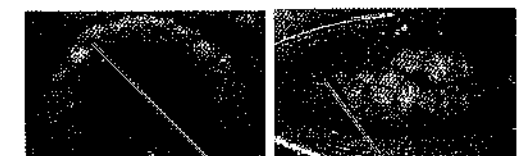
(問題 53) 初診時の口腔内写真(別冊午前 No.18)を別に示す。Hellmanの歯齡はどれか。1つ選べ。

- a II C
- b II A
- c III B
- d III C

別冊 午前 No.18

選択肢考察

答え b



上下顎の第一大臼歯が咬合している

上下顎とも第一大臼歯および永久切歯は萌出しており、乳歯の側方歯群(CDE)は残存している

- × a II Cは第一大臼歯および前歯萌出開始期である。
- b II Aは第一大臼歯萌出完了および前歯萌出中または完了期である。写真を見ると第一大臼歯の萌出完了および前歯萌出中であるためHellmanの歯齡II Aである。
- × c III Bは側方歯群交換期である。
- × d III Cは第二大臼歯萌出開始期である。

(問題 54) 矯正治療に用いる装置の写真(別冊午前 No.19)を別に示す。

筋の機能力を利用するのはどれか。2つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.19

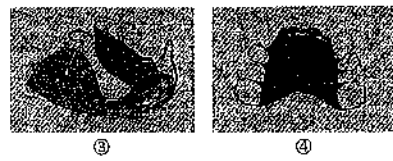
選択肢考察

答え b c



①

②



- × a ①はラップアラウンドリテーナーである。保定装置であり、筋の機能力は利用しない。
- b ②はアクチバートルである。機能的矯正装置であり、筋の機能力を利用する。
- c ③はバイオネーターである。機能的矯正装置であり、筋の機能力を利用する。
- × d ④はスペースリグナーである。拡大ネジを利用しており、筋の機能力は利用しない。

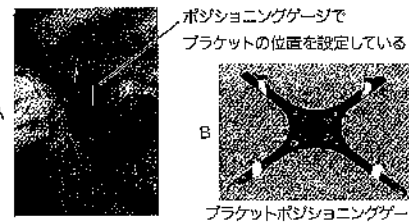
(問題 55) 歯科矯正治療で、ある操作を行っている写真(別冊午前 No.20A)と操作時に用いた器具の写真(別冊午前 No.20B)を別に示す。器具の目的はどれか。1つ選べ。

- a 帯環の撤去
- b 歯冠サイズの計測
- c アーチワイヤーの選択
- d ブラケットの位置設定

別冊 午前 No.20A,B

選択肢考察

答え d



- × a 帯環の撤去にブラケットポジショニングゲージは用いない。
- × b 歯冠サイズの計測にブラケットポジショニングゲージは用いない。
- × c アーチワイヤーの選択にブラケットポジショニングゲージは用いない。
- d 写真の器具はブラケットポジショニングゲージであり、ブラケットの位置設定に用いる。

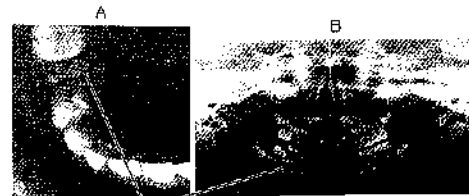
(問題 56) 7歳の男児。咬み合わせの異常を主訴として来院した。乳歯列期には異常はみられなかったが、第一大臼歯萌出後から徐々に隣接歯の位置が変わり、傾斜もみられるようになったという。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.21A)とエックス線写真(別冊午前 No.21B)を別に示す。矢印で示す歯の異常はどれか。1つ選べ。

- a 歯牙腫
- b 低位歯
- c 癒合歯
- d 萌出遅延

別冊 午前 No.21A,B

選択肢考察

答え b



矢印で示す下顎右側第二乳臼歯は咬合平面に達していない

- × a 歯牙腫は歯原性腫瘍であり、歯の萌出障害の原因になることがある。
- b 第二乳臼歯が咬合平面に達していないが、乳歯列期には異常がなかったと記載があり、なんらかの原因によって低位を示したと判断できる。したがって、矢印の歯は低位歯である。
- × c 癒合歯は隣接歯が象牙質を含めて癒合したものである。
- × d 萌出遅延は萌出時期を過ぎてても萌出してこないものである。本症例では乳歯列期には異常がなかったことから、萌出遅延は考えられない。

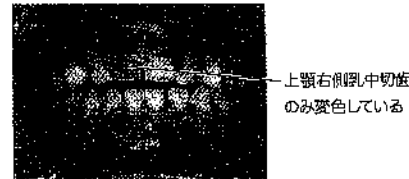
(問題 57) 5歳の男児。歯の変色を主訴として来院した。2週前から徐々に変化してきたが、現在痛みと動揺はない。先天性疾患の既往もないという。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.22)を別に示す。変色の原因で考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 歯の外傷
- b 歯垢の付着
- c 抗菌薬の服用
- d お茶の頻回摂取

別冊 午前 No.22

選択肢考察

答え a



上顎右側乳中切歯のみ変色している

- a 上顎右側乳中切歯が2週前から徐々に変色してきたとのことであるが、1歯のみにみられる変色であることから歯の外傷が考えられる。
- × b 歯垢の付着によって歯が全体的に灰褐色に変色するとは考えられない。
- × c 抗菌薬の服用による変色では、歯の形成時期が同じ反対側同名歯にも変色がみられる。
- × d お茶の頻回摂取で着色が生じることはあるが、1歯のみに全体的に灰褐色に変色するとは考えられない。

次の文を読み、(問題 58)、(問題 59)に答えよ。  
86歳の男性。うまく食べることができないことを主訴として来院した。6か月前に、右側大脳半球の脳梗塞により左側の半身に麻痺が生じたという。

(問題 58) この脳梗塞が影響するのはどれか。2つ選べ。

- a 顎運動
- b 舌運動
- c 口唇運動
- d 喉頭挙上運動

選択肢考察

答え b c

- × a 顎運動に影響するのは左側大脳半球の脳梗塞である。
- b 舌運動に影響するのは右側大脳半球の脳梗塞および左側大脳半球の脳梗塞である。
- c 口唇運動に影響するのは右側大脳半球の脳梗塞および左側大脳半球の脳梗塞である。
- × d 喉頭挙上運動に影響するのは左側大脳半球の脳梗塞である。

(問題 59) この脳梗塞で起こりやすい後遺症はどれか。2つ選べ。

- a 失語
- b 失認
- c 失調
- d 歩行障害

選択肢考察 答え b d

- × a 失語は左側大脳半球の脳梗塞で起こりやすい後遺症と考えられる。
- b、○ d 失認や歩行障害は右側大脳半球の脳梗塞により起こりやすい後遺症である。
- × c 失調はこの脳梗塞で起こりやすい後遺症とは考えにくい。

(問題 60) 胃瘻と比較した経鼻経管栄養の利点はどれか。2つ選べ。

- a 侵襲が少ない。
- b 長期の使用に適している。
- c 腸管から栄養が吸収される。
- d 間歇的経管栄養に利用できる。

選択肢考察 答え a d

- a 胃瘻は造設のため手術が必要であるが、経鼻経管栄養は手術を行う必要がないため侵襲が少ない。
- × b 経鼻経管栄養は短期の使用に適している。長期の使用に適しているのは胃瘻である。
- × c 胃瘻も経鼻経管栄養も腸管から栄養が吸収されるため、胃瘻と比較した経鼻経管栄養の利点とはいえない。
- d 経鼻経管栄養は間歇的経管栄養に利用できる。

(問題 61) 4歳の女児。定期診査のため来院した。生後から呼吸障害のため気管切開し、人工呼吸器を装着している。知的発達障害はない。最近、鈴を装着するようになったという。車椅子で来院したときの写真(別冊午前 No.23)を別に示す。矢印で示す鈴の主目的はどれか。1つ選べ。

- a 機能訓練に用いる。
- b おもちゃとして遊ぶ。
- c 呼吸リズム獲得に使用する。
- d コミュニケーションツールに用いる。

別冊 午前 No.23

選択肢考察

答え d



気管切開され人工呼吸器が装着されている

- × a 鈴を機能訓練に用いているとは考えにくい。
- × b 鈴をおもちゃとして遊んでいるとは考えにくい。

- × c 人工呼吸器が装着されているため、呼吸リズムを獲得する必要がない。
- d 人工呼吸器が装着されており、言葉でコミュニケーションがとれないため、鈴をコミュニケーションツールに用いている。

(問題 62) 非協力児や体動のある障害児者の歯科治療で開口器を使用するとき、留意すべき偶発症はどれか。2つ選べ。

- a 歯の外傷
- b 過呼吸発作
- c 口唇の挫傷
- d 唾液の分泌障害

選択肢考察 答え a c

- a、○ c 非協力児や体動のある障害児者の歯科治療では不意な動きで開口器が外れ、歯の外傷や口唇の挫傷を引き起こすことがあるため留意が必要である。
- × b、× d 非協力児や体動のある障害児者の歯科治療で開口器を使用するからといって、過呼吸発作や唾液の分泌障害に留意する必要はない。

(問題 63) 20歳の女性。歯の裏側の違和感を主訴として来院した。口腔内写真(別冊午前 No.24)を別に示す。矢印で示す付着物を評価できる指標はどれか。1つ選べ。

- a PDI
- b OHI
- c PHP
- d PMA Index

別冊 午前 No.24

選択肢考察

答え b



矢印の付着物は歯石である

- × a、○ b、× c、× d 矢印の付着物は歯石である。歯石を評価できる指標は OHI であり、PDI や PHP、PMA Index は歯石を評価できない。

(問題 64) 32歳の女性。①下の歯の汚れがとれないことを訴えて来院した。歯科医師より歯周組織検査を指示され行った結果、②プロービング値は4mm以下、BOPおよび歯の動揺は認められず、O'LearyのPCRは15%であった。③下顎前歯舌側に少量の歯肉縁上歯石が認められた。④超音波スクレーラーでのスクレーリングを行うことになった。SOAPにおける「O」はどれか。2つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察 答え b c

- × a ①は SOAP における「S」、つまり主観的情報である。
- b、○ c SOAP における「O」とは客観的情報のことであり、②と③である。
- × d ④は SOAP における「P」、つまりプラン(治療方針)である。

(問題 65) 歯周病の宿主因子で局所性修飾因子はどれか。2つ選べ。

- a 肥満
- b 口呼吸
- c 骨粗鬆症
- d エナメル突起

選択肢考察 答え b d

- × a 肥満は歯周病に関与している可能性が考えられているが、局所性修飾因子ではない。
- b 口呼吸は歯周病の局所性修飾因子で、ブラークリテンションファクターともいう。
- × c 骨粗鬆症は歯周病に関与している可能性が考えられているが、局所性修飾因子ではない。
- d エナメル突起は歯周病の局所性修飾因子で、ブラークリテンションファクターともいう。

(問題 66) エックス線写真(別冊午前 No.25)を別に示す。矢印で示す部位にみられる所見の原因として考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 歯肉腫瘍
- b 食片の圧入
- c ブラキシズム
- d 不適切な修復物

別冊 午前 No.25

選択肢考察 答え b c



矢印の部位に垂直性骨吸収がみられる

- × a 歯肉腫瘍では歯槽骨吸収はみられない。
- b、○ c 矢印の部位に垂直性骨吸収がみられる。垂直性骨吸収は食片圧入やブラキシズムなどが関与して生じる。
- × d エックス線写真で不適切な修復物は観察できない。

(問題 67) 56歳の女性。下顎右側第一大臼歯の違和感を主訴として来院した。1週間より症状が継続しているという。歯周組織検査結果の一部を表に示す。

歯	アタッチメントレベル (mm)	7	5	3
	PPD (mm)	⑤	⑤	2
歯	PPD (mm)	⑩	⑩	3
	アタッチメントレベル (mm)	8	7	4
出血点 (4mm以上の分類)		2		
根分岐部 (Lindhe 及び Nyman の分類)		2		

○印：ブローキング時の出血

得られた情報はどれか。2つ選べ。

- a 歯槽骨吸収が存在する。
- b 頬舌方向へ0.6mm程度動く。
- c 歯肉退縮幅は1~2mmである。
- d 根分岐部の組織破壊は歯冠幅径の1/3である。

選択肢考察 答え a c

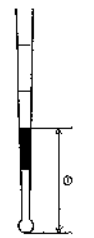
- a 根分岐部病変が2度であるため、歯槽骨吸収が存在すると判断できる。

- × b 動揺度が2度であるため、頬舌方向へ1~2mm動くと考えられる。
- c アタッチメントレベルからPPDを減じた値が歯肉退縮幅である。したがって、歯肉退縮幅は1~2mmであると判断できる。
- × d 根分岐部病変が2度であるため、根分岐部の組織破壊は歯冠幅径の1/3を超えている。

(問題 68) ある器具の先端を模式図に示す。

①の距離はどれか。1つ選べ。

- a 3.5mm
- b 5.5mm
- c 8.5mm
- d 11.5mm



選択肢考察 答え b

- × a、○ b、× c、× d 器具に目盛りが付与されており、黒いバンドがある。さらに先端が球状であることからCPIプローブであると判断できる。したがって、①の距離は5.5mmである。

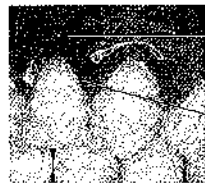
(問題 69) 28歳の女性。歯肉の違和感を主訴として来院した。6か月前から自覚していたが放置していたという。口腔内写真(別冊午前 No.26)を別に示す。

認められるのはどれか。2つ選べ。

- a クレフト
- b 歯肉からの出血
- c 辺縁歯肉の腫脹
- d 歯肉縁上歯石の付着

別冊 午前 No.26

選択肢考察 答え b c



辺縁歯肉が腫脹している  
出血がみられる

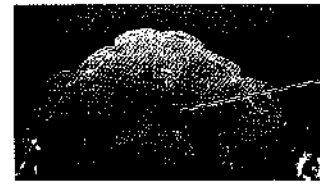
- × a クレフトは辺縁歯肉のV字型あるいはU字型の裂け目である。口腔内写真では認められない。
- b、○ c 口腔内写真をみると、歯肉からの出血や辺縁歯肉の腫脹が認められる。
- × d 歯肉縁上歯石の付着は口腔内写真で認められない。

(問題 70) 65歳の男性。下顎前歯部の歯肉からの出血を主訴として来院した。慢性歯周炎と診断され、歯科医師より歯頸部付着物の除去を指示された。患者はペースメーカーを装着しているという。来院時の口腔内写真(別冊午前 No.27)を別に示す。使用するものはどれか。2つ選べ。

- a エアスケーラー
- b 半導体レーザー
- c 超音波スケーラー
- d シックルタイプスケーラー

別冊 午前 No.27

選択肢考察 答え a d



歯石の沈着

- a、○ d 歯頸部の付着物は歯石であるため、その除去にはエアスケーラーやシックルタイプスケーラーが使用される。
- × b 半導体レーザーは歯石除去に使用しない。
- × c 超音波スケーラーは歯石除去に有効であるが、ペースメーカー装着者には使用しない。本症例の患者はペースメーカーを装着しているため使用は適切でない。

(問題 71) グレーシータイプキュレットのシャープニングで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 砥石は2cmほど上下に動かす。
- b 刃部の内面を床面と垂直にする。
- c 砥石を下げる動作でシャープニングを終える。
- d 刃部内面と砥石のなす角度は70度に設定する。

選択肢考察 答え a c

- a、○ c グレーシータイプキュレットのシャープニングでは、砥石を2cmほど上下に動かす。スラッジが出たら、砥石を下げる動作でシャープニングを終える。
- × b グレーシータイプキュレットのシャープニングでは、刃部の内面を床面と平行にする。
- × d グレーシータイプキュレットのシャープニングでは、刃部内面と砥石のなす角度は100~110度に設定する。

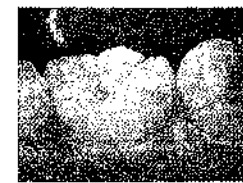
(問題 72) 36歳の女性。歯周病の治療を希望して来院した。歯科医師よりスクーリングを指示された。口腔内写真(別冊午前 No.28)を別に示す。

バックポジションでこの部位のスクーリングを行う場合に使用するグレーシータイプキュレットの組合せで適切なものはどれか。1つ選べ。

- a #7 ——— #11 ——— #14
- b #7 ——— #12 ——— #13
- c #8 ——— #11 ——— #14
- d #8 ——— #12 ——— #13

別冊 午前 No.28

選択肢考察 答え d



下顎右側臼歯部舌側

- × a、× b、× c、○ d 口腔内写真の部位は下顎右側臼歯部の舌側である。したがって、この部位のスクーリングに使用するグレーシータイプキュレットの組合せは#8、#12、#13である。

(問題 73) 学齢期における小窩裂溝充填塞の適応はどれか。2つ選べ。

- a 口蓋側に盲孔がある上顎側切歯
- b 裂溝に白濁がある下顎第二大臼歯
- c 隣接面にう蝕がある下顎第一小白歯
- d 歯冠部に破折線がある上顎第一大臼歯

選択肢考察 答え a b

- a 口蓋側に盲孔がある上顎側切歯は学齢期における小窩裂溝充填塞の適応である。
- b 裂溝に白濁がある下顎第二大臼歯は学齢期における小窩裂溝充填塞の適応である。
- × c 隣接面にう蝕がある下顎第一小白歯にはう蝕処置を行う。
- × d 歯冠破折に小窩裂溝充填塞は適用しない。

(問題 74) 高値でう蝕ハイリスクと判定するのはどれか。1つ選べ。

- a 唾液分泌量
- b ビタミンD摂取量
- c フッ化物応用頻度
- d Dentcult®-LBのClass

選択肢考察 答え d

- × a 唾液分泌量が高値であると、う蝕リスクが低下する。
- × b ビタミンD摂取量が高値でもう蝕ハイリスクではない。
- × c フッ化物応用頻度が高値であると、う蝕リスクが低下する。
- d Dentcult®-LBのClassが高値であると、Lactobacilliの菌数が高値であるため、う蝕ハイリスクと判定する。

(問題 75) フッ化物歯面塗布に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a HF
- b NaF
- c SnF<sub>2</sub>
- d Na<sub>2</sub>PO<sub>3</sub>F

選択肢考察 答え b c

- × a HFはフッ化水素である。生体には使用されず、フッ化物歯面塗布には用いない。
- b NaFはフッ化ナトリウムであり、フッ化物歯面塗布に用いる。
- c SnF<sub>2</sub>はフッ化第一スズであり、フッ化物歯面塗布に用いる。
- × d Na<sub>2</sub>PO<sub>3</sub>Fはモノフルオロリン酸ナトリウムであり、フッ化物配合歯磨剤に用いる。

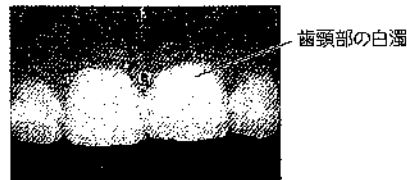
(問題 76) 2歳の男児。上顎乳前歯歯頸部の変色を主訴として来院した。歯科医師が確認したところ実質欠損はなかった。口腔内写真(別冊午前 No.29)を別に示す。

適切な対応はどれか。2つ選べ。

- a フッ化物洗口
- b フッ化物歯面塗布
- c フッ化ジアンミン銀塗布
- d フッ化物配合歯磨剤の使用

別冊 午前 No.29

選択肢考察 答え b d



歯頸部の白濁

- × a フッ化物洗口は 4 歳以上に適用する。
- b、○ d 歯頸部に白濁がみられるが、実質欠損はないため、フッ化物の局所応用の適用である。対応としてフッ化物歯面塗布やフッ化物配合歯磨剤の使用は適切である。
- × c フッ化シアンミン銀はラウリン酸誘導体として用いられる。塗布すると歯質が黒変する。

**(問題 77)** フッ化物ゲルを用いたフッ化物歯面塗布法の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 塗布部が不明瞭である。
- b 塗布面への停滞性がよい。
- c 塗布後拭拭操作が必要である。
- d 隣接面への流れが容易である。

**選択肢考察** **答え b c**

- × a フッ化物ゲルは塗布部が明瞭である。
- b フッ化物ゲルは塗布面への停滞性がよいため、繰り返し塗り続ける必要はない。
- c フッ化物ゲルは塗布後、余剰ゲルの拭拭操作が必要である。
- × d フッ化物ゲルは隣接面への流れが容易とはいえない。

**(問題 78)** 保健活動でポピュレーションアプローチはどれか。2つ選べ。

- a 高校生に対する食育教育
- b 喫煙者に対する禁煙教室の開催
- c 糖尿病予備群に対する食生活指導
- d 高齢者に対する口腔機能向上教室の開催

**選択肢考察** **答え a d**

- a 高校生に対する食育教育はポピュレーションアプローチである。
- × b 喫煙者に対する禁煙教室の開催はハイリスクアプローチである。
- × c 糖尿病予備群に対する食生活指導はハイリスクアプローチである。
- d 高齢者に対する口腔機能向上教室の開催はポピュレーションアプローチである。

**(問題 79)** サルコペニアで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 筋肉量が減少する。
- b 内臓脂肪が増加する。
- c 不可逆的に進行する。
- d 消費エネルギーが増加する。

**選択肢考察** **答え a**

- a サルコペニアでは筋肉量が減少する。
- × b 内臓脂肪が増加するのはメタボリックシンドロームである。
- × c サルコペニアは可逆的である。
- × d サルコペニアでは消費エネルギーが減少する。

**(問題 80)** 45 歳の男性。企業の健康診断の一環で、歯科健診に訪れた。口腔内診査の結果、中等度の歯周病と診断された。服用している薬はないが、前年より特定保健指導の積極的支援を受けているという。歯科医師から歯科保健指導を指示された。特定健診の結果を表に示す。

改善が必要な項目はどれか。1つ選べ。

身長	170 cm
体重	85 kg
BMI	29.4
腹囲	90 cm
空腹時血糖	200 mg/dL
HbA1c	6.9 %
中性脂肪	100 mg/dL
HDL コレステロール	50 mg/dL
収縮期血圧	124 mmHg
拡張期血圧	73 mmHg

**選択肢考察** **答え a**

- a 特定健康診断の HbA1c の判定基準は 5.2% 以上のため、6.9% は改善が必要である。
- × b 特定健康診断の中性脂肪の判定基準は 150mg/dL 以上のため、100mg/dL は改善する必要がない。
- × c 特定健康診断の収縮期血圧の判定基準は 130mmHg 以上のため、124mmHg は改善する必要がない。
- × d 特定健康診断の HDL コレステロールの判定基準は 40mg/dL 未満のため、50mg/dL は改善する必要がない。

**(問題 81)** 歯科衛生士の業務記録の一次利用で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 経営戦略の立案
- b 継続的な指導管理
- c 患者対照研究の実施
- d 他職種との情報共有

**選択肢考察** **答え b d**

- × a 経営戦略の立案は歯科衛生士の業務記録の二次利用である。
- b 継続的な指導管理は歯科衛生士の業務記録の一次利用である。
- × c 患者対照研究の実施は歯科衛生士の業務記録の二次利用である。
- d 他職種との情報共有は歯科衛生士の業務記録の一次利用である。

**(問題 82)** 47 歳の女性。乳癌治療のため、歯科医師から周術期口腔衛生管理の指示を受けた。術前の化学療法で 1クール目で口腔粘膜炎を発生しているという。口腔内所見と症状を表に示す。

口腔内所見	複数の潰瘍がある。
症状	粘膜に熱感がある。 頬嚙部に軽度の痛みはあるが嚙噛は可能。 嚙下は可能だが、面形変態時に軽度疼痛がある。

使用するセルフケア用品の成分で適切なものはどれか。1つ選べ。

- a グリセリン
- b メントール
- c リン酸水素カルシウム
- d ラウリル硫酸ナトリウム

**選択肢考察** **答え a**

- a 口腔粘膜炎に対しては口腔内保湿のためにグリセリン含有剤を使用する。

- × b メントールは香味剤である。
- × c リン酸水素カルシウムはカルシウム製剤である。
- × d ラウリル硫酸ナトリウムは発泡剤である。

**(問題 83)** 1 歳 8 か月の男児。1 歳 6 か月児健康診査に訪れた。歯科健康診査後に歯科保健指導を行うことになった。

1 歳 8 か月児健康診査表

母乳：飲んでいない・(飲んでいない)		母乳：完了・(完了)	
歯の発育	乳歯：E D C B A A B C D E	乳歯：完了	乳歯：完了
歯の清掃	乳歯：E D C B A A B C D E	むし歯の罹患率：D <sub>1</sub> ( ) A B C	むし歯の罹患率：D <sub>1</sub> ( ) A B C
		咬傷の罹患率：( )	咬傷の罹患率：( )
		歯の汚れ：きれい・少ない・(きれい)	歯の汚れ：きれい・少ない・(きれい)
		歯肉・結膜：( )	歯肉・結膜：( )
		かみ合わせ：( )	かみ合わせ：( )

指導内容

よく飲むもの	フルーツジュース
歯の清掃	決めていない
歯の清掃	行っていない

指導内容で適切なものはどれか。2つ選べ。

- a 母乳の中止
- b 仕上げ磨きの実施
- c 決められた時間に間食を提供
- d ジュースからスポーツドリンクへ変更

**選択肢考察** **答え b c**

- × a 母乳は未完了であるが、母乳を中止する必要はない。
- b 歯の汚れが多く、むし歯の罹患率が O<sub>2</sub> 型のため、仕上げ磨きの実施を指導する必要がある。
- c 間食の時間を決めておらず、むし歯の罹患率が O<sub>2</sub> 型のため、決められた時間に間食を提供するように指導する必要がある。
- × d フルーツジュースをよく飲んでいるが、スポーツドリンクへ変更する必要はない。

**(問題 84)** 3 歳児を対象として実施するう蝕予防教育に用いる媒体はどれか。2つ選べ。

- a 壁新聞
- b 紙芝居
- c 人形劇
- d リーフレット

**選択肢考察** **答え b c**

- × a 3 歳児は壁新聞を理解することができないため、媒体として適切ではない。
- b、○ c 3 歳児を対象として実施するう蝕予防教育では紙芝居や人形劇を媒体として用いる。
- × d 3 歳児はリーフレットを理解することができないため、媒体として適切ではない。

**(問題 85)** 70 歳の男性。介護者から口腔粘膜の乾燥について相談があり、訪問診療をすることになった。認知症により意思の疎通が困難になったという。評価方法で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a ガム法
- b 吐唾液法
- c サクソン法
- d 唾液湿度検査

**選択肢考察** **答え d**

- × a ガム法はガムを 10 分間咀嚼し、分泌される唾液量を測定する方法であるが、認知症により意思の疎通が困難なため実施することができない。

- × b 吐唾液法は咀嚼せずに安静な状態で自然に分泌される唾液をコップに吐き出して量を測定する方法であるが、認知症により意思の疎通が困難なため実施することができない。
- × c サクソン法は乾燥したガーゼを 2 分間咀嚼し、吸湿した唾液量を測定する方法であるが、認知症により意思の疎通が困難なため実施することができない。
- d 唾液湿度検査は湿度検査紙を用いて、舌の粘膜上の唾液湿度を計測する方法であり、認知症により意思の疎通が困難であっても実施することが可能である。

**(問題 86)** 26 歳の女性。定期健康診査のために来院した。口腔清掃習慣を表に示し、2 色性の歯垢染色剤で染色後の口腔内写真 (別冊午前 No.30) を別に示す。

歯磨き回数	3 回/日、3 分/回
使用清掃用具	手用歯ブラシ (硬さ: ふつ)
使用歯磨剤	フッ化物配合歯磨剤
歯磨き方法	横磨き

適切な口腔清掃指導はどれか。2つ選べ。

- a 歯磨剤の種類を変更する。
- b デンタルフロスを使用する。
- c 歯ブラシを小刻みに動かす。
- d 硬い毛の歯ブラシに変更する。

別冊 午前 No.30

**選択肢考察** **答え b c**



歯頸部と隣接面が染色されている

- × a 歯磨剤の種類を変更する必要はない。
- b 口腔内写真から隣接面に歯垢染色剤による染色がみられるため、デンタルフロスを使用することが適切である。
- c 口腔内写真から歯頸部や隣接面に歯垢染色剤による染色がみられるため、歯ブラシを小刻みに動かすように指導することが適切である。
- × d 硬い毛の歯ブラシに変更する必要はない。

**(問題 87)** 65 歳の女性。入院中の口腔衛生管理を依頼された。乳癌の診断で、10 日前から化学療法を行っているという。口腔内の強い疼痛を訴えている。初診時の舌の写真 (別冊午前 No.31) を別に示す。

- 適切な対応はどれか。1つ選べ。
- a 化学療法の期間中に介入する。
  - b 清掃前に表面麻酔薬を使用する。
  - c エタノール含有の含嗽剤を使用する。
  - d アングルワイダーを清掃時に使用する。

別冊 午前 No.31

**選択肢考察** **答え b**



潰瘍形成がみられる

- × a 化学療法の期間中に介入することで口腔衛生管理を行う必要はあるが、現時点での対処法ではない。
- b 口腔内写真から舌縁部に潰瘍形成がみられ、口腔内の強い疼痛を訴えていることから、清掃前に表面麻酔薬を使用し、口腔衛生管理を行う必要がある。
- × c 口腔内写真から舌縁部に潰瘍形成がみられるため、エタノール含有の含嗽剤を使用することは適切でない。
- × d アンゲルワイダーを清掃時に使用する必要はない。

**(問題 88)** 平成 28 年国民健康・栄養調査結果で、60 歳代が最も高値を示したのはどれか。1 つ選べ。

- a 朝食欠食率
- b 野菜摂取量
- c 脂質摂取量
- d やせの者の割合

**選択肢考察** **答え b**

- × a 平成 28 年国民健康・栄養調査結果で、朝食欠食率は 20 歳代が最も高値である。
- b 平成 28 年国民健康・栄養調査結果で、野菜摂取量は 20 歳代が最も低値で、60 歳代が最も高値である。
- × c 平成 28 年国民健康・栄養調査結果で、脂質摂取量は 10 歳代が最も高値である。
- × d 平成 28 年国民健康・栄養調査結果で、やせの者の割合は 20 歳代の女性が最も高値である。

**(問題 89)** えん下困難者用食品が含まれるのはどれか。1 つ選べ。

- a 栄養機能食品
- b 特別用途食品
- c 機能性表示食品
- d 特別保健用食品

**選択肢考察** **答え b**

- × a 栄養機能食品は食生活などの理由により不足しがちな栄養成分の補給を目的とした食品である。
- b 特別用途食品は患者用食品（個別基準型、許可基準型：低たんぱく質食品、アレルギー除去食品、無乳糖食品、総合栄養食品）、妊産婦・授乳婦用粉乳、乳児用調整粉乳、えん下困難者用食品（えん下困難者用食品、とろみ調整用食品）、特定保健用食品をいう。
- × c 機能性表示食品は事業者の責任において、科学的根拠に基づいた機能性を表示した食品である。
- × d 特定保健用食品は食品のもつ特定の保健の用途を表示して販売される食品である（特別保健用食品という名称はありません）。

**(問題 90)** 学齢期における咀嚼の効果はどれか。2 つ選べ。

- a 脳血流の減少
- b 精神状態の安定
- c 味覚閾値の上昇
- d 唾液分泌量の増加

**選択肢考察** **答え b d**

- × a、× c 脳血流の減少や味覚閾値の上昇は学齢期における咀嚼の効果ではない。
- b、○ d 精神状態の安定や唾液分泌量の増加は学齢期における咀嚼の効果である。

**(問題 91)** 加齢に伴う摂食嚥下障害の間接訓練で、口腔期に障害がある場合に行うのはどれか。2 つ選べ。

- a 舌訓練
- b 交互嚥下
- c シャキア法
- d ブローイング訓練

**選択肢考察** **答え a d**

- a 舌訓練は摂食嚥下障害の間接訓練で、準備期や口腔期、咽頭期に障害があるときに行う。
- × b 交互嚥下は摂食嚥下障害の直接訓練で、食道期に障害があるときに行う。
- × c シャキア法は摂食嚥下障害の間接訓練で、咽頭期に障害があるときに行う。
- d ブローイング訓練は摂食嚥下障害の間接訓練で、口腔期や咽頭期に障害があるときに行う。

**(問題 92)** 脳卒中後の構音障害における訓練で、①舌「バ」、②唇「ウー」、③硬口蓋「アー」などを特異的に使う発音を繰り返すことで、口腔周囲筋の運動訓練となり、④摂食嚥下機能の改善がみられる。

下線部分で正しいのはどれか。2 つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

**選択肢考察** **答え b d**

- × a、× c 構音障害における訓練では、構音点が舌尖、歯頭部、硬口蓋である「タ行」、「ラ行」の発音が有効である。口腔期に障害があるときは構音点が舌根と軟口蓋である「カ行」、「ガ行」の発音が有効である。
- b 構音障害における訓練では、口唇の訓練のため「ウー」の発音が有効である。準備期に障害があるときは構音点が口唇である「バ行」、「マ行」も有効である。
- d 構音訓練を行うことで、嚥下に関連する器官の機能改善につながる。

**(問題 93)** オーラルフレイルでみられるのはどれか。1 つ選べ。

- a 低栄養
- b 滑舌低下
- c 残根の放置
- d 摂食嚥下障害

**選択肢考察** **答え b**

- × a、× c、× d オーラルフレイルでは低栄養や残根の放置、摂食嚥下障害はみられない。
- b オーラルフレイルとは、老化に伴う様々な口腔の状態の変化（滑舌低下など）に、口腔健康への関心の低下や心身の予備能力低下も重なり、口腔の脆弱性が増加し、食べる機能障害へ陥り、さらにはフレイルに影響を与え、心身の機能低下にまで繋がる一連の現象および過程のことである。

**(問題 94)** 76 歳の男性。咀嚼困難のため訪問診療を依頼された。要介護度 4 で在宅療養中である。口腔周囲に触れるとくいしづりが強くなるため、診療に支障がある。

最初に行うのはどれか。1 つ選べ。

- a 脱感作療法
- b 冷圧刺激法
- c 筋刺激訓練法
- d 軟口蓋挙上訓練法

**選択肢考察** **答え a**

- a 脱感作療法は、口腔周囲に対する刺激不足や感覚運動の体験不足による顎顔面領域の触刺激に対する過敏を除去する訓練である。口腔周囲に触れるとくいしづりが強くなることから、脱感作療法が有効である。
- × b 冷圧刺激法は嚥下促進訓練であり、嚥下反射に問題はないため行う必要はない。
- × c 筋刺激訓練法は筋機能訓練であり、筋機能に問題はないため行う必要はない。
- × d 軟口蓋挙上訓練法は呼吸訓練であり、鼻咽腔閉鎖機能に問題はないため行う必要はない。

**(問題 95)** 76 歳の男性。食べるのに時間がかかると施設職員から相談された。2 年前に脳梗塞を発症したが、むせはなく、装具を用いて自力摂取をしているという。初診時に食事指導を行い食事時間は短縮したという。再評価時の食事風景の写真(別冊午前 No.32)を別に示す。

行った食事支援はどれか。2 つ選べ。

- a 食具の決定
- b 食器の変更
- c 普通食への変更
- d 胃食道逆流への対応

別冊 午前 No.32

**選択肢考察** **答え a b**



- a 再評価時の食事風景の写真から、使いやすい食具の決定を行ったと考えられる。
- b 再評価時の食事風景の写真から、使いやすい食器に変更したと考えられる。
- × c 再評価時の食事風景の写真から、とろみ食を摂取しているため、普通食への変更は行っていない。
- × d 再評価時の食事風景の写真から、胃食道逆流への対応は行っていない。

**(問題 96)** パルスオキシメーターで測定する部位はどれか。2 つ選べ。

- a 腋窩
- b 耳朶
- c 上腕
- d 指先

**選択肢考察** **答え b d**

- × a 腋窩で測定するのは体温である。
- b パルスオキシメーターは耳朶でも測定できる。
- × c 上腕で測定するのは血圧である。
- d パルスオキシメーターは指先で測定するのが一般的である。

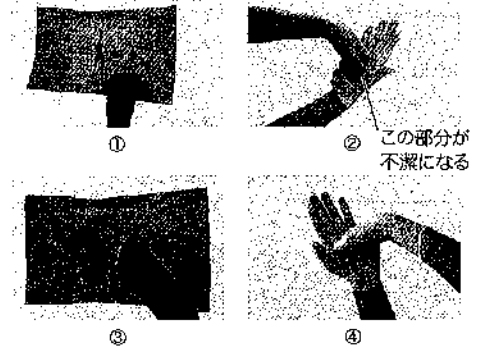
**(問題 97)** 滅菌グローブ装着時の写真(別冊午前 No.33)を別に示す。

グローブが不潔になるのはどれか。1 つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.33

**選択肢考察** **答え b**



- a 滅菌グローブの内面は不潔になっても問題はない。つまり、グローブの内面は未滅菌である素手で触ってもよい。①はグローブの装着方法として正しい。
- × b 滅菌グローブの外側を素手で触っているため、グローブの表面が不潔になる。②はグローブの装着方法としては誤りである。
- c、○ d 滅菌グローブの外側を滅菌グローブで触っているので清潔な状態を保つことができる。③と④はグローブの装着方法として正しい。

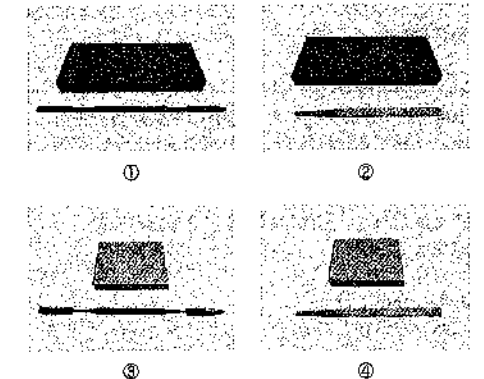
**(問題 98)** リン酸亜鉛セメント練和時に使用する器具の写真(別冊午前 No.34)を別に示す。

適切なのはどれか。1 つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.34

**選択肢考察** **答え a**



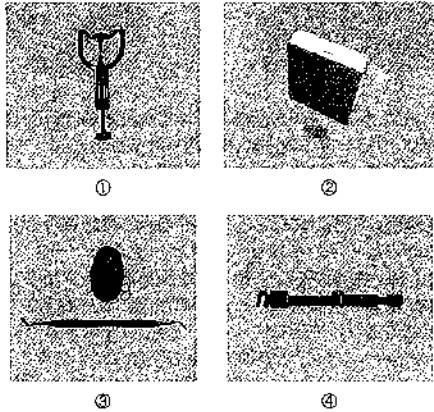
- a ①はガラス練板とステンレスパチュラである。リン酸亜鉛セメントはこれらを用いて練和する。
- × b ②はガラス練板とプラスチックパチュラである。
- × c ③は紙練板とステンレスパチュラである。酸化亜鉛ユージノールセメントはこれらを用いて練和する。
- × d ④は紙練板とプラスチックパチュラである。ガラスアイオノマーセメントとポリカルボキシレートセメントはこれらを用いて練和する。

(問題 99) 25歳の女性。う蝕の治療を希望して来院した。上顎前歯隣接面にコンポジットレジン修復を行うことになり、歯科医師より即時歯間分離の指示があった。器具の写真(別冊午前 No.35)を別に示す。

使用するのどれか。1つ選べ。  
a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.35

選択肢考察 答え a



- a ①はアイボリー型の歯間分離器(セパレータ)である。上顎前歯隣接面のコンポジットレジン修復では、セパレータを用いて即時歯間分離を行う。
- × b ②はセルロイドストリップス(透明マトリックス)である。隣接面にコンポジットレジン充填する際に使用する。
- × c ③は歯肉圧排系とジンパッカーである。歯肉圧排する際に使用する。
- × d ④はタッフルマイヤー・リテーナーである。隔壁の調整時に使用する。

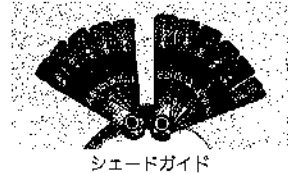
(問題 100) 21歳の女性。上顎前歯の審美障害を主訴として来院した。上顎中切歯唇側にコンポジットレジン修復を行うことになった。準備するよう指示があった器具の写真(別冊午前 No.36)を別に示す。

使用にあたり正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 患歯を濡らす。
- b 自然光下で行う。
- c 時間をかけて行う。
- d ラバーダム装着下で行う。

別冊 午前 No.36

選択肢考察 答え a b



- a シェードガイド使用時には、患歯をエアージンジで乾燥させずに濡らす。
- b、× c 自然光下で目が同色の歯の色に慣れる前に時間をかけず早く行う。
- × d ラバーダム装着下ではほかの歯の色と比較できない。

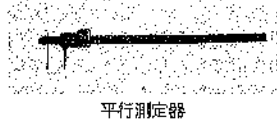
(問題 101) ブリッジ治療で使用する器具の写真(別冊午前 No.37)を別に示す。

これを使用するのはどれか。1つ選べ。

- a 支台歯形成
- b 印象採得
- c 咬合調整
- d 試適

別冊 午前 No.37

選択肢考察 答え a



- a、× b、× c、× d  
写真はブリッジの支台歯の平行性を確認するために用いる平行測定器である。支台歯形成時に使用する。

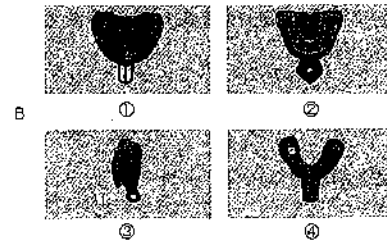
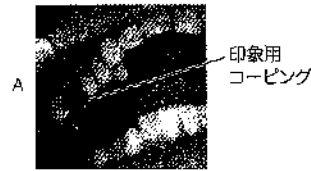
(問題 102) 45歳の男性。上顎右側第一大臼歯にインプラント治療を受けている。上部構造印象採得時の口腔内写真(別冊午前 No.38A)と印象用トレーの写真(別冊午前 No.38B)を別に示す。

適切なのはどれか。1つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.38A,B

選択肢考察 答え d



- × a ①は既製の網トレー(上顎用)である。
- × b ②は既製のリムロックトレー(上顎用)である。
- × c ③は既製の局部トレー(片顎用)である。
- d ④は個人トレーである。印象用コーピングが貫通できるように穴があいている。

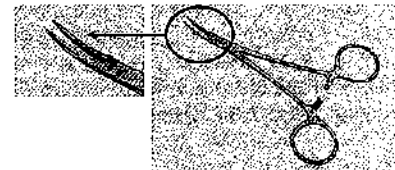
(問題 103) 器具の写真と先端を拡大した写真(別冊午前 No.39)を別に示す。

使用目的はどれか。2つ選べ。

- a 止血
- b 掻爬
- c 把持
- d 穿刺

別冊 午前 No.39

選択肢考察 答え a c



モスキート鉗子

- a 写真は止血鉗子の1つであるモスキート鉗子である。止血のために使用する。
- × b 抜歯窩の搔爬には鋭匙を使用する。
- c 血管や軟組織の把持のために使用する。
- × d 穿刺には注射針を使用する。

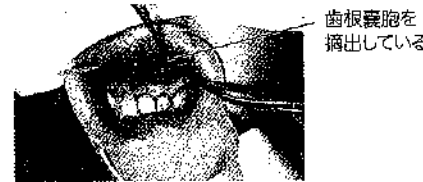
(問題 104) 45歳の女性。上顎左側中切歯の歯根嚢胞の摘出手術を受けている。嚢胞を摘出している写真(別冊午前 No.40)を別に示す。歯科医師より病理組織検査の指示があった。

摘出した組織を直ちに保存するのはどれか。1つ選べ。

- a 水道水
- b 滅菌水
- c ホルマリン液
- d ポビドンヨード液

別冊 午前 No.40

選択肢考察 答え c



歯根嚢胞を摘出している

- × a 水道水に保存しても組織は腐敗する。
- × b 滅菌水に保存しても組織は腐敗する。
- c ホルマリン液は組織標本作製のための固定、防腐処理のために用いる。切除した検体組織は切除した面に紙を貼付して、直ちに10%中性ホルマリンに保存する。
- × d ポビドンヨード液は消毒薬の1つである。

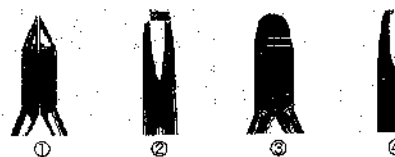
(問題 106) 矯正歯科治療用器具の写真(別冊午前 No.41)を別に示す。

ブラケットの撤去に使用するのどれか。1つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.41

選択肢考察 答え d



- × a ①はバードピックプライヤーである。細いワイヤーを屈曲するために用いる。
- × b ②はバンドリムービングプライヤーである。バンドを撤去するために用いる。
- × c ③はツイードアーチベンディングプライヤーである。レクタングュラーワイヤーにトルクを付与するために用いる。
- d ④はブラケットリムービングプライヤーである。ブラケットを歯面から撤去するために用いる。

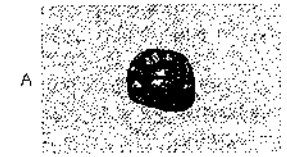
(問題 106) 4歳の男児。下顎右側第一乳臼歯のう蝕の治療を希望して来院した。乳歯用既製冠を用いた歯冠修復を行うことになった。支台歯形成後に使用する器材の写真(別冊午前 No.42A)と器具の写真(別冊午前 No.42B)を別に示す。

Aを選択した後に使用するのどれか。1つ選べ。

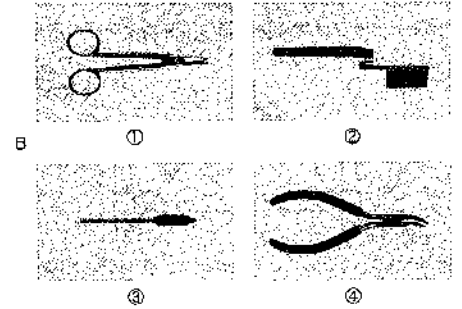
- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午前 No.42A,B

選択肢考察 答え a



乳歯用既製冠



- a ①は金冠ばさみである。写真Aは乳歯用既製冠で、冠を選択した後、金冠ばさみで冠縁を切断する。
- × b ②は咬合紙と咬合紙ホルダーである。冠縁の調整後、咬合紙、咬合紙ホルダー、カーボランダムポイントを用いて咬合調整を行う。
- × c ③は青色シリコンポイントである。乳歯用既製冠の研磨に用いる。
- × d ④はゴードンプライヤーである。冠縁の調整に用いる。

(問題 107) 90歳の女性。義歯着脱が困難で口腔状況が不良となり、家族とともに来院した。患者はアルツハイマー型認知症であり、認知症高齢者の日常生活自立度判定はランクⅢである。歯科治療時の適切な対応はどれか。2つ選べ。

- a 家族が付き添う。
- b 本人に十分説明する。
- c 複数の医療者と連携を図る。
- d 静脈内鎮静法を用いて処置を行う。

選択肢考察 答え a c

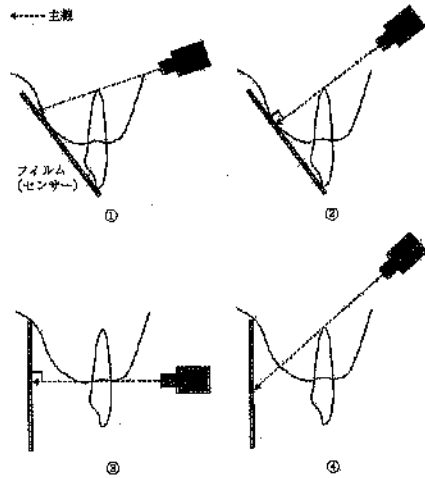
- a 認知症高齢者の日常生活自立度判定のランクⅢとは、日常生活に支障をきたすような症状、行動や意思疎通の困難さがときどきみられ、介護を必要とする状態である。歯科治療時には家族が付き添うのが望ましい。
- × b アルツハイマー型認知症で、意思疎通が困難であることから、本人に十分説明しても理解してもらえない可能性がある。
- c 複数の医療者と連携して対応することは医療の質の向上につながる。
- × d 静脈内鎮静法が必要な状況ではない。

(問題 108) 自閉スペクトラム症のある患者に対するコミュニケーション法で、正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 筆談
- b 手話
- c TEACCH法
- d PECS (picture exchange communication system)

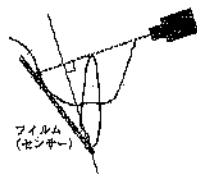
**選択肢考察** **答え c d**  
 × a、× b 筆談と手話は、言語障害、聴覚障害のある患者に対するコミュニケーション法である。  
 ○ c TEACCH法とは、自閉性障害のある患者に対し、写真や絵カードなどを応用し、目でみてわかりやすくする方法である。  
 ○ d PECSとは、絵カードを用いて相手の指示を受けるだけでなく、絵カードを交換することによって自分からの意思も伝達できる双方向のコミュニケーション法である。

(問題 109) エックス線写真撮影の投影角度を図に示す。



二等分法はどれか。1つ選べ。  
a ① b ② c ③ d ④

**選択肢考察** **答え a**



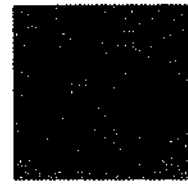
- a ①は二等分法である。二等分法は歯軸とフィルムの二等分線に対してエックス線束の主線(中心線)を直角に入射させる。こうするとフィルム上に写し出された歯が実長に撮影されるので、等長法ともよばれる。
- × b ②のような投影角度にはしない。
- × c ③は平行法である。歯軸とフィルムを平行に位置づけ、フィルムに対してエックス線束の主線を直角に入射させる。
- × d ④のような投影角度にはしない。

(問題 110) 82歳の男性。歯科治療終了後に待合室へ移動した直後、突然倒れて意識がなくなった。直ちに歯科医師、歯科衛生士がかけつけ、救命処置を行った。歯科医師から写真(別冊午前 No.43)に示す装置の準備をするよう指示があった。電極を所定の位置に貼付した後、除細動を行う音声ガイダンスがあった。

- 次の対応はどれか。1つ選べ。
- a 脈を触知する。
  - b 呼吸を確認する。
  - c 人工呼吸を続ける。
  - d 患者に触れないようにする。

別冊 午前 No.43

**選択肢考察** **答え d**



- × a、× b 写真は AED である。AED を装着する前に、意識の確認、呼吸の確認を行う。BLS のアルゴリズム (2005) では呼吸の確認と脈の触知が記載されていたが、BLS のアルゴリズム (2015) では呼吸の確認のみで脈の触知は記載されていない。
- × c AED 装着後、電気ショックが不要な場合は直ちに胸骨圧迫と人工呼吸を続ける。電気ショックが必要な場合は電気ショック後、直ちに胸骨圧迫と人工呼吸を続ける。
- d 心電図の解析中は患者に触れないようにする。

# 解説 (午後問題)

(問題 1) 上顎骨の写真(別冊午後 No.1)を別に示す。矢印で示すのはどれか。1つ選べ。

- a 頬骨突起
- b 口蓋突起
- c 歯槽突起
- d 前頭突起

別冊 午後 No.1

**選択肢考察** **答え b**



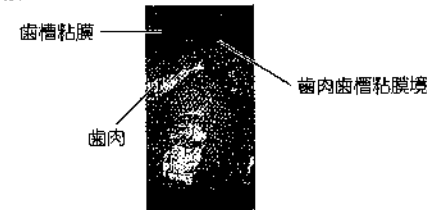
- × a 頬骨突起は上顎体から外方に突出する突起で頬骨につながる。
- b 口蓋突起は上顎体から内方に突出する突起で反対側の口蓋突起につながる。
- × c 歯槽突起は上顎体から下方に突出する突起で反対側の歯槽突起につながる。
- × d 前頭突起は上顎体から上方に突出する突起で前頭骨につながる。

(問題 2) 上顎切歯部の唇側面の写真(別冊午後 No.2)を別に示す。

- 矢印で示すのはどれか。1つ選べ。
- a 歯肉溝
  - b 上唇小帯
  - c 遊離歯肉溝
  - d 歯肉歯槽粘膜境

別冊 午後 No.2

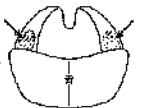
**選択肢考察** **答え d**



- × a 歯肉溝とは遊離歯肉と歯の間のできる溝で、いわゆる歯周ポケットのことである。
- × b 上唇小帯は上顎側中切歯の間に存在する粘膜ヒダである。
- × c 遊離歯肉溝とは遊離歯肉と付着歯肉の間にある溝である。
- d 歯肉歯槽粘膜境とは矢印で示す歯肉と歯槽粘膜の境である。

(問題 3) 口峽を模式図に示す。矢印で示す部位に存在するのはどれか。1つ選べ。

- a 舌扁桃
- b 咽頭扁桃
- c 口蓋扁桃
- d 耳管扁桃



**選択肢考察** **答え c**

- × a 舌扁桃は舌根部の粘膜下に存在する。
- × b 咽頭扁桃は咽頭後壁上部に存在する。
- c 口蓋扁桃は口蓋舌弓と口蓋咽頭弓の間の扁桃窩に存在する。
- × d 耳管扁桃は耳管咽頭口付近に存在する。

(問題 4) 腎臓で水分の再吸収を促進するのはどれか。1つ選べ。

- a オキシトシン
- b カルシトニン
- c プロラクチン
- d バソプレッシン

**選択肢考察** **答え d**

- × a 下垂体後葉ホルモンであるオキシトシンは乳汁の射出を促進する。
- × b 甲状腺から分泌されるカルシトニンは血清カルシウム濃度を低下させる。
- × c 下垂体前葉ホルモンであるプロラクチンは乳汁の分泌を促進する。
- d 下垂体後葉ホルモンであるバソプレッシン(抗利尿ホルモン)は腎臓で水分の再吸収を促進する。

(問題 5) 形成期のエナメル質で最も多いのはどれか。1つ選べ。

- a エナメルリン
- b コラーゲン
- c アメロゲン
- d アメロプラスチン

**選択肢考察** **答え c**

- × a、○ c、× d 形成期および幼若期のエナメル質のタンパク質は、アメロゲン>エナメルリン>アメロプラスチンの順に多い。
- × b エナメル質にコラーゲンは含まれていない。

(問題 6) 味物質と味の種類の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a クエン酸 ————— 塩味
- b グルコース(ブドウ糖) ——— うま味
- c 硫酸キニーネ ————— 苦味
- d グルタミン酸ナトリウム ——— 甘味

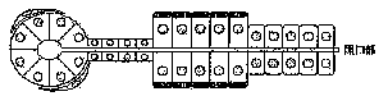
**選択肢考察** **答え c**

- × a クエン酸は酸味の味物質である。
- × b グルコース(ブドウ糖)は甘味の味物質である。
- c 硫酸キニーネは苦味の味物質である。
- × d グルタミン酸ナトリウムはうま味の味物質である。

(問題 7) 唾液腺の腺房と導管系の模式図を示す。

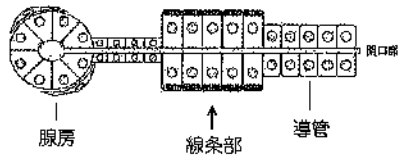
矢印で示す部位で再吸収されるのはどれか。1つ選べ。

- a K<sup>+</sup>
- b Na<sup>+</sup>
- c Ca<sup>2+</sup>
- d HCO<sub>3</sub><sup>-</sup>



選択肢考察

答え b



- × a、○ b、× c、× d

唾液腺は腺房と導管系から成り立っている。矢印で示す部位は導管系の線条部で、Na<sup>+</sup>が再吸収される。また、Cl<sup>-</sup>も再吸収され、K<sup>+</sup>およびHCO<sub>3</sub><sup>-</sup>の分泌がみられる。

(問題 8) 顎骨欠損部に患者自身の腸骨を移植するのはどれか。

1つ選べ。

- a 異種移植
- b 自家移植
- c 同種異系移植
- d 同種同系移植

選択肢考察

答え b

- × a 異種移植は異なる種属からの移植である。ほかの動物からヒトへ移植した場合はこれに該当する。
- b 自家移植は同一個体のほかの部位からの移植である。顎骨欠損部に患者自身の腸骨を移植するのは、この自家移植に該当する。
- × c 同種異系移植は同一種であるが異なった遺伝子構成を有する個体からの移植である。腎移植や心臓移植はこれに該当する。
- × d 同種同系移植は遺伝的に同一の個体からの移植である。一卵性双生児間での移植がこれに該当する。

(問題 9) 歯原性腫瘍の分類を表に示す。

①に当てはまるのはどれか。1つ選べ。

- a 歯牙腫
- b 歯原性線維腫
- c エナメル上皮腫
- d セメント芽細胞腫

	良性	悪性
上皮性	①	
上皮間葉混合型		
間葉性		

選択肢考察

答え c

- × a 歯牙腫は良性上皮間葉混合型腫瘍である。
- × b 歯原性線維腫は良性間葉性腫瘍である。
- c エナメル上皮腫は良性上皮性腫瘍である。
- × d セメント芽細胞腫は良性間葉性腫瘍である。

(問題 10) 口腔粘膜の再発性アフタ性潰瘍形成を特徴とする病変はどれか。1つ選べ。

- a 麻疹
- b 口腔扁平苔癬
- c 口腔カンジダ症
- d Behçet病(ペーチェット病)

選択肢考察

答え d

- × a 麻疹では頬粘膜に前駆症状としてコプリック斑がみられる。
- × b 口腔扁平苔癬は白色の網状、びらん状、萎縮状の慢性炎症性角化病変である。口腔粘膜の灼熱感、接触痛がみられる。40歳以上の女性、両側の頬粘膜に好発する。
- × c 口腔カンジダ症ではピンセットで剥離できる白色偽膜や萎縮性紅斑がみられる。要介護高齢者など口腔清掃不良者、抗菌薬やステロイド薬を長期投与されている患者、エイズ患者などの舌や頬粘膜に好発する。
- d Behçet病(ペーチェット病)は、口腔粘膜の再発性アフタ性潰瘍、皮膚の結節性紅斑、眼のブドウ膜炎、外陰部潰瘍を特徴とする病変である。

(問題 11) C型肝炎で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 血液を介して感染する。
- b DNAウイルスが病原体である。
- c 予防にはワクチン接種が有効である。
- d わが国のキャリアは約2万人と推定される。

選択肢考察

答え a

- a C型肝炎は輸血や血液製剤などの血液を介して感染することが多かった。
- × b A型肝炎とC型肝炎はRNAウイルスが病原体である。一方、B型肝炎はDNAウイルスが病原体である。
- × c C型肝炎には現在有効なワクチンはない。一方、B型肝炎の予防にはワクチン接種が有効である。
- × d わが国のC型肝炎キャリアは約200万人と推定される。

(問題 12) Porphyromonas gingivalis の特徴はどれか。1つ選べ。

- a 莢膜をもつ。
- b 非溶血性を示す。
- c 適性嫌気性菌である。
- d ロイコトキシンを産生する。

選択肢考察

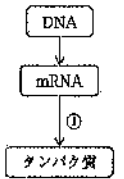
答え a

- a 莢膜をもつため、上皮破壊、骨吸収作用が強い。
- × b 血液寒天培地上で黒色コロニーを形成し、溶血性を示す。
- × c 偏性嫌気性菌である。
- × d シンジバインというプロテアーゼを産生し、歯周組織の破壊に関与する。ロイコトキシンを産生するのは Aggregatibacter actinomycetemcomitans である。

(問題 13) タンパク質合成の過程を図に示す。

①の過程を阻害する抗菌薬はどれか。1つ選べ。

- a サルファ薬
- b ペニシリン系抗菌薬
- c マクロライド系抗菌薬
- d ニューキノロン系抗菌薬



選択肢考察

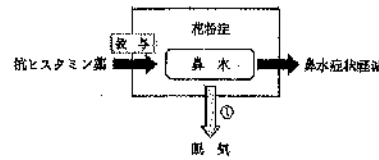
答え c

- × a サルファ薬(スルホニアミド類)は葉酸合成阻害作用を有する。
- × b ペニシリン系抗菌薬は細胞壁合成阻害作用を有する。
- c マクロライド系抗菌薬はタンパク質合成(リボソーム50S)阻害作用を有する。
- × d ニューキノロン系抗菌薬は核酸合成阻害作用を有する。

(問題 14) 花粉症による鼻水症状に対する薬物治療を図に示す。

①の薬理作用はどれか。1つ選べ。

- a 主作用
- b 副作用
- c 間接作用
- d 興奮作用



選択肢考察

答え b

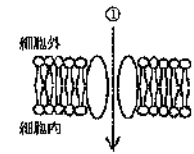
- × a、○ b、× c、× d

抗ヒスタミン薬はH1受容体(炎症作用、アレルギー症状)に特異的に結合するので、抗炎症作用、抗アレルギー作用を有する。主作用は鼻水症状軽減、咳止め、かゆみ止めなどの抗アレルギー作用で、副作用は眠気、口渇である。

(問題 15) ジアゼパムを使用した時の細胞内外のイオンの動きを模式図に示す。

①はどれか。1つ選べ。

- a K<sup>+</sup>
- b Cl<sup>-</sup>
- c Na<sup>+</sup>
- d Ca<sup>2+</sup>



選択肢考察

答え b

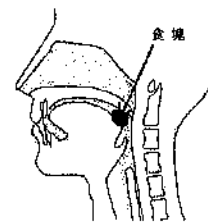
- × a、○ b、× c、× d

ジアゼパムなどのベンゾジアゼピン誘導体は、GABA<sub>A</sub>受容体に特異的に結合し、GABA作用を増強するため、中枢神経を抑制する。GABA(γ-アミノ酪酸)は中枢神経系における抑制性神経伝達物質で、GABAがGABA<sub>A</sub>受容体と結合するとCl<sup>-</sup>チャンネルが開き、Cl<sup>-</sup>イオンが細胞内に流入する。その結果、過分極が起こり、中枢神経を抑制する。

(問題 16) 摂食嚥下運動の流れの一時期を図に示す。

この時期はどれか。1つ選べ。

- a 準備期
- b 口腔期
- c 咽頭期
- d 食道期



選択肢考察

答え b

- × a 準備期は食物を口腔に取り込み、咀嚼して食塊を形成する時期である。
- b 図の時期は口腔期である。口腔期は咀嚼後の食塊を咽頭へ送り出す時期であり、舌の作用によって行われる随意運動である。
- × c 咽頭期は食塊が口腔を通過してから咽頭を経て後端が食道入口部を通過するまでの時期である。
- × d 食道期は食道の蠕動運動により、食塊が食道入口部から胃の噴門へと送られる不随意運動である。

(問題 17) 12歳の男児。定期健康診査で来院した。来院時の

口腔内写真(別冊午後No.3)を別に示す。

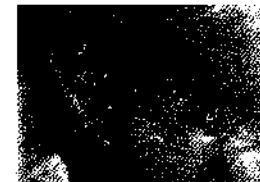
矢印が示す部位の清掃に適するのはどれか。1つ選べ。

- a 歯間ブラシ
- b タフトブラシ
- c ラバーチップ
- d デンタルフロス

別冊 午後 No.3

選択肢考察

答え b



下顎第二大臼歯が萌出途上

- × a、× c、× d 歯間ブラシやラバーチップ、デンタルフロスは低位歯の清掃には適していない。
- b 口腔内写真から下顎第二大臼歯が萌出途上のため、タフトブラシによる清掃が適している。

(問題 18) 歯垢染色剤に使用されるのはどれか。2つ選べ。

- a フロキシム
- b メチルレッド
- c プリリアントブルー
- d クリスタルバイオレット

選択肢考察

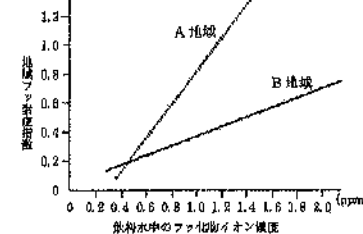
答え a c

- a フロキシムは歯垢染色剤に使用される。
- × b メチルレッドはメチルレッド試験(微生物検査)に用いられる。
- c プリリアントブルーは歯垢染色剤に使用される。
- × d クリスタルバイオレットはグラム染色(微生物検査)に用いられる。

(問題 19) ある2つの地域における飲料水中のフッ化物イオン濃度と地域フッ素症指数との関連を図に示す。

A地域とB地域で異なっていると考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 人口性比
- b 年齢構成
- c 年間降水量
- d 年間平均気温



選択肢考察

答え d

- × a、× b、× c 人口性比や年齢構成、年間降水量が異なるという根拠がない。
- d B地域と比較してA地域は飲料水中のフッ化物イオン濃度に対する地域フッ素症指数が大きい。理由としてA地域はB地域と比較して年間平均気温が高く、飲料水を多く摂取するためと考えられる。

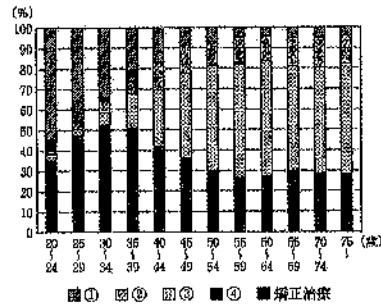
(問題 20) 歯周病の第二次予防はどれか。2つ選べ。

- a PMTC
- b 食生活指導
- c 定期歯科検診
- d ルートプレーニング

選択肢考察 答え c d

- × a PMTCは歯周病の第一次予防である。
- × b 食生活指導は歯周病の第一次予防である。
- c 定期歯科検診は歯周病の第二次予防である。
- d ルートプレーニングは歯周病の第二次予防である。

(問題 21) ある全国的な調査(2005年)による年齢階級別歯の喪失原因を図に示す。



歯周病はどれか。1つ選べ。  
a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察 答え c

- × a 全国抜歯原因調査結果(2005年)で、①はその他である。
- × b 全国抜歯原因調査結果(2005年)で、②は破折である。
- c 全国抜歯原因調査結果(2005年)で、③は歯周病である。
- × d 全国抜歯原因調査結果(2005年)で、④はう蝕である。

(問題 22) スクリーニング検査結果の分類で、有病者はどれか。2つ選べ。

- a 真陽性
- b 偽陽性
- c 真陰性
- d 偽陰性

選択肢考察 答え a d

- a 真陽性は、本当に疾病があってスクリーニングでも陽性と判定された人のため有病者である。
- × b 偽陽性は、本当は健全であるのにスクリーニングで陽性と判定された人のため健康者である。
- × c 真陰性は、本当に健全であってスクリーニングでも陰性と判定された人のため健康者である。
- d 偽陰性は、本当は疾病があるのにスクリーニングで陰性と判定された人のため有病者である。

(問題 23) 健康日本21(第二次)における高齢者の低栄養傾向の指標はどれか。1つ選べ。

- a BMI
- b HbA1c
- c 腹囲
- d 血中アルブミン

選択肢考察 答え a

- a BMIは健康日本21(第二次)における高齢者の低栄養傾向の指標として用いられている。

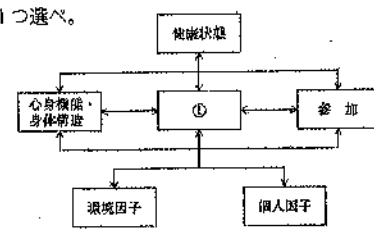
× b、× c HbA1cや腹囲はメタボリックシンドロームの診断基準である。

× d 血中アルブミンは低栄養傾向の指標として用いられるが、健康日本21(第二次)における高齢者の低栄養傾向の指標としては用いられていない。

(問題 24) ICF(国際生活機能分類)の構成要素を図に示す。

①はどれか。1つ選べ。

- a 学校教育
- b 痛みの感覚
- c 家族の態度
- d セルフケア



選択肢考察 答え d

- × a 学校教育は参加(教育や仕事)や個人因子(教育歴)に含まれる。
- × b 痛みの感覚は心身機能・身体構造に含まれる。
- × c 家族の態度は参加(対人関係)や環境因子(援助者)に含まれる。
- d ①は活動である。セルフケアは活動に含まれる。

(問題 25) 有害な作用を発現する気中濃度が最も高いのはどれか。1つ選べ。

- a 一酸化炭素
- b 二酸化硫黄
- c 二酸化炭素
- d 二酸化窒素

選択肢考察 答え c

- × a 一酸化炭素の環境基準値は「1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること」である。
- × b 二酸化硫黄の環境基準値は「1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ1時間値が0.1ppm以下であること」である。
- c 日常生活における室内の二酸化炭素濃度は0.1%以下を基準として換気を行う。二酸化炭素は3%以上になると症状が現れ、10%以上になると死亡の危険性が増加する。
- × d 二酸化窒素の環境基準値は「1時間値の1日平均値が0.04~0.06ppmのゾーン内またはそれ以下であること」である。

(問題 26) EBM実践の手順で、最初のステップはどれか。1つ選べ。

- a 情報の適用
- b 問題の定式化
- c 情報の収集と選択
- d 情報の批判的吟味

選択肢考察 答え b

- × a、○ b、× c、× d
- 実践の手順は、  
Step 1: 臨床上の疑問の抽出とその定式化(患者情報)(b)  
Step 2: 外的根拠としての情報の検索(文献検索)(c)  
Step 3: 情報の質の吟味(妥当性の評価)~文献の批判的吟味(d)  
Step 4: 患者への適用(a)  
Step 5: 事後評価である。

(問題 27) 生活習慣病の予防に有効なのはどれか。1つ選べ。

- a 行動変容
- b 食品衛生
- c 流行監視
- d 予防接種

選択肢考察 答え a

- a 行動変容は生活習慣病の予防に有効である。
- × b、× c、× d 食品衛生や流行監視、予防接種は生活習慣病の予防とはならない。

(問題 28) 第二種学校感染症はどれか。1つ選べ。

- a 水痘
- b コレラ
- c ジフテリア
- d 流行性結膜炎

選択肢考察 答え a

- a 水痘は第二種学校感染症である。
- × b コレラは第三種学校感染症である。
- × c ジフテリアは第一種学校感染症である。
- × d 流行性結膜炎は第三種学校感染症である。

(問題 29) 常時50人以上の従業員が働く事業所において、労働安全衛生法に基づいて選任が義務付けられているのはどれか。2つ選べ。

- a 産業医
- b 衛生管理者
- c 産業歯科医
- d 労働衛生コンサルタント

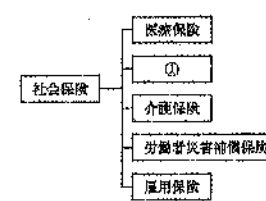
選択肢考察 答え a b

- a、○ b 常時50人以上の従業員が働く事業所において、「労働安全衛生法」に基づき、産業医と衛生管理者の選任が義務付けられている。
- × c、× d 産業歯科医や労働衛生コンサルタントの選任は義務付けられていない。

(問題 30) わが国の社会保険の分類を図に示す。

①で給付されるのはどれか。1つ選べ。

- a 年金
- b 予防
- c 療養
- d 休業補償



選択肢考察 答え a

- a、× b、× c、× d
- わが国の社会保険制度は、医療保険、年金保険、介護保険、労働者災害補償保険、雇用保険からなる。①は年金保険のため、給付されるのは年金である。

(問題 31) 歯科衛生士法に基づく歯科衛生士の義務はどれか。2つ選べ。

- a 守秘義務
- b 2年間の業務記録の保管
- c 5年ごとの業務従事者届の提出
- d 歯科衛生士名簿の登録事項変更の申請

選択肢考察 答え a d

- a 守秘義務は「歯科衛生士法」に基づく歯科衛生士の義務である。
- × b 業務記録の保管は3年間と「歯科衛生士法」で定められている。
- × c 就業地の都道府県知事に業務従事者届を2年ごとに届出する義務が「歯科衛生士法」で定められている。
- d 歯科衛生士名簿の登録事項変更の申請は「歯科衛生士法」に基づく歯科衛生士の義務である。

(問題 32) 48歳の女性。①ブラッシング時の疼痛を訴えて来院した。②全顎的にプラークの付着および歯肉退縮が認められ、歯科医師より歯科保健指導を行うよう指示された。ブラッシング方法を確認したところ、③水平法を行っていたため、④スクラッピング法に変更することが望ましいと考えた。

歯科衛生士の業務記録(別冊午後No.4)を別に示す。下線部分で「計画」欄に記録する内容はどれか。1つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午後 No.4

選択肢考察 答え d

項目	①	②	③	④
主観的データ	○	○	○	○
客観的データ	○	○	○	○
評価・分析	○	○	○	○
計画	○	○	○	○

- × a ①は主観的情報(Subjective data)の「S」である。「主訴」欄に記録する。
- × b ②は客観的情報(Objective data)の「O」である。「所見」欄に記録する。
- × c ③は評価・分析(Assessment)の「A」である。「分析」欄に記録する。
- d ④は計画(Plan)の「P」である。「計画」欄に記録する。

(問題 33) 医療法で、医療機関に義務付けられているのはどれか。1つ選べ。

- a 医療安全管理者の配置
- b 厚生労働省へのインシデント報告
- c 患者・家族への医療安全指導の実施
- d 医療安全支援センターへの医療事故報告

選択肢考察 答え a

- a 特定機能病院では、医療安全管理者の配置、医療安全管理部門の設置、患者相談体制の確保を義務づけた。

- × b アクシデント・インシデントの院内報告制度といった医療安全体制の確保が義務づけられた。厚生労働省への報告ではない。
- × c 医療に係る安全管理のための職員研修の実施を義務づけた。
- × d 医療事故が発生した場合は、医療安全支援センターではなく、医療事故調査・支援センターに報告しなければならない。

〔問題 34〕 Hellman の歯齡ⅣA はどれか。1 つ選べ。

- a 第一大臼歯の萌出完了
- b 第二大臼歯の萌出開始
- c 第二大臼歯の萌出完了
- d 第三大臼歯の萌出開始

選択肢考察

答え c

- × a 第一大臼歯の萌出完了は Hellman の歯齡ⅢA である。
- × b 第二大臼歯の萌出開始は Hellman の歯齡ⅢC である。
- c Hellman の歯齡ⅣA は第二大臼歯の萌出完了である。
- × d 第三大臼歯の萌出開始は Hellman の歯齡ⅣC である。

〔問題 35〕 体温測定時間が最も短いのはどれか。1 つ選べ。

- a 鼓膜温
- b 口腔温
- c 腋窩温
- d 直腸温

選択肢考察

答え a

○ a、× b、× c、× d

体温の測定時間は使用する体温計や部位などによって異なる。一般的に電子体温計を使用すると水銀体温計よりも測定時間が短くなる。耳孔用の電子体温計は 1～数秒で測定できるため、測定時間が最も短いのは鼓膜温である。

〔問題 36〕 電離放射線による確率的影響でみられるのはどれか。1 つ選べ。

- a 脱毛
- b 白内障
- c 白血病
- d 皮膚発赤

選択肢考察

答え c

- × a 脱毛は確定的影響でみられる。
- × b 白内障は確定的影響でみられる。
- c 白血病は確率的影響でみられる。
- × d 皮膚発赤は確定的影響でみられる。

〔問題 37〕 ある検査画像(別冊午後 No.5)を別に示す。

この検査はどれか。1 つ選べ。

- a 嚥下圧検査
- b 超音波検査
- c 嚥下造影検査
- d 嚥下内視鏡検査

別冊 午後 No.5

選択肢考察

答え c



造影剤を含んだ食物

× a、× b、○ c、× d

検査画像をみると、生体の硬組織が明瞭に観察でき、また、造影剤を含んだ食物と考えられる物質も存在する。したがって、この検査は嚥下造影検査と判断できる。

〔問題 38〕 68 歳の女性。上顎前歯部の一過性の冷水痛を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.6)を別に示す。

適切と考えられる処置はどれか。2 つ選べ。

- a フッ化物歯面塗布
- b ラミネートベニア修復
- c コンポジットレジン修復
- d グラスアイオノマーセメント修復

別冊 午後 No.6

選択肢考察

答え c d



歯頸部にう蝕がみられる

- × a 実質欠損を伴う歯頸部う蝕であり、フッ化物歯面塗布は適切でない。
- × b ラミネートベニア修復は唇側面全体を切削する必要があるが、歯頸部のみう蝕に適切とはいえない。
- c、○ d 実質欠損を伴う歯頸部う蝕に適切な処置はコンポジットレジン修復やグラスアイオノマーセメント修復である。

〔問題 39〕 上顎中切歯の模式図を示す。

斜線で示す窩洞は Black 分類でどれか。1 つ選べ。

- a I 級
- b II 級
- c III 級
- d IV 級



選択肢考察

答え c

- × a I 級窩洞は臼歯の小窩裂溝、上顎前歯の舌側小窩などの窩洞である。
- × b II 級窩洞は臼歯の隣接面窩洞である。
- c III 級窩洞は前歯の隣接面窩洞で切縁隅角を含まない窩洞である。図の窩洞は上顎中切歯の隣接面の窩洞であるため III 級窩洞である。
- × d IV 級窩洞は前歯の切縁隅角を含む隣接面窩洞である。

〔問題 40〕 45 歳の女性。下顎前歯の痛みを主訴として来院した。昨夜から激しい拍動性疼痛と温熱痛があるという。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.7A)、エックス線写真(別冊午後 No.7B)を別に示す。

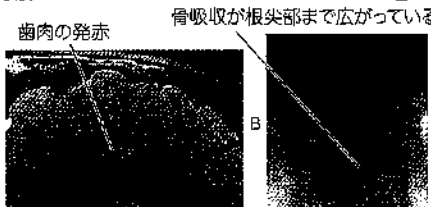
考えられる対応はどれか。2 つ選べ。

- a SRP
- b LDDS
- c 咬合調整
- d 麻酔抜髄

別冊 午後 No.7A、B

選択肢考察

答え c d



× a 上行性歯髄炎で急性症状があるため、現時点で SRP は適切な対応とはいえない。なお、上行性歯髄炎の原因は歯周炎による深いポケットであるため、麻酔抜髄後に歯周治療としてブラークコントロールや SRP を行うとよい。

× b LDDS は抗菌薬の局所投与である。歯周炎の急性発作や急性歯周膿瘍などに対して LDDS は有効であるが、上行性歯髄炎に対しては効果がない。

○ c、○ d 下顎前歯の激しい拍動性疼痛や温熱痛を訴えているが、口腔内写真やエックス線画像で明らかなる蝕はみられず、歯周炎が進行し骨吸収が根尖部まで広がっていることから、歯周ポケットからの感染による上行性歯髄炎であると考えられる。したがって、歯内治療として麻酔抜髄を行って痛みを軽減させる必要がある。また、患歯を安静にするため、咬合調整を行うのは適切と考えられる。

〔問題 41〕 歯髄鎮痛消炎療法で正しいのはどれか。1 つ選べ。

- a  $KNO_3$  で象牙細管を封鎖する。
- b 修復象牙質形成を目的とする。
- c 急性根尖性歯周炎が適応である。
- d ユージノールの鎮静効果を利用している。

選択肢考察

答え d

× a  $KNO_3$  で象牙細管を封鎖するのは象牙質知覚過敏症に対する処置であるが、歯髄鎮痛消炎療法ではない。

× b 修復象牙質形成を目的とするのは間接覆髄法や暫時的間接覆髄法である。歯髄鎮痛消炎療法ではない。

× c 歯髄鎮痛消炎療法は歯髄保存療法である。歯髄が失活している急性根尖性歯周炎に適応できない。

○ d 歯髄鎮痛消炎療法は歯髄充血などに対して、ユージノールの鎮静効果を利用して歯髄の鎮静を図る処置である。

〔問題 42〕 54 歳の男性。上顎右側第一大臼歯の拍動性の疼痛を主訴として来院した。急性化膿性根尖性歯周炎と診断され、感染根管治療が行われたところ、多量の排膿と出血が認められた。処置中の口腔内写真(別冊午後 No.8)を別に示す。

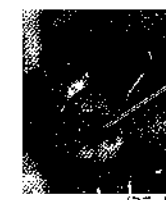
処置後に行う仮封の方法で考えられるのはどれか。1 つ選べ。

- a レジン系仮封材による単一反封
- b サンダラック綿球による穿通仮封
- c カルボン酸系セメントによる単一反封
- d ストップングと酸化亜鉛ユージノールセメントによる二重仮封

別冊 午後 No.8

選択肢考察

答え b



根管から出血か?

× a、○ b、× c、× d

急性化膿性根尖性歯周炎で多量の排膿と出血が認められることから、サンダラック綿球による穿通仮封が有効である。レジン系仮封材による単一反封やカルボン酸系セメントによる単一反封、ストップングと酸化亜鉛ユージノールセメントによる二重仮封といった通常の仮封では、内圧が亢進し急性症状の悪化の可能性があるのである。

〔問題 43〕 20 歳の女性。下顎前歯部歯肉からの出血を主訴として来院した。6 か月前からブラッシング時に自覚していたが痛みがないため放置していたという。歯周組織検査後、TBI とスケーリングを行うよう指示を受けた。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.9A、B)とエックス線写真の一部(別冊午後 No.9C)を別に示す。

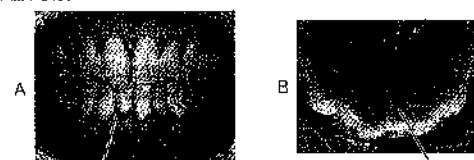
歯周基本治療終了後の再評価時にみられると考えられるのはどれか。2 つ選べ。

- a 露出歯根面
- b スティッピング
- c 象牙質知覚過敏症
- d プロービング深さの減少

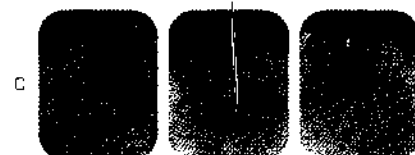
別冊 午後 No.9A、B、C

選択肢考察

答え b d



歯肉の発赤 骨吸収はみられない 歯石の沈着



× a、× c 20 歳の女性で歯肉の発赤や歯石の沈着はみられるが骨吸収はみられず、歯肉炎と考えられる。したがって、歯周基本治療後に露出歯根面がみられるとは考えにくい。

また、歯根露出が原因で生じる象牙質知覚過敏症がみられるとも考えにくい。  
 ○b、○d 歯肉炎に対して歯周基本治療を行うと、歯肉の炎症が軽減・消失することからスティッピングやブローピング深さの減少がみられると考えられる。

〔問題 44〕 53 歳の男性。歯肉の腫脹を主訴として来院した。検査の結果、慢性歯周炎と診断され、歯周基本治療後に歯周組織再生療法が行われることになった。歯周外科治療時の口腔内写真（別冊午後 No.10A）とその一部を拡大した写真（別冊午後 No.10B）を別に示す。

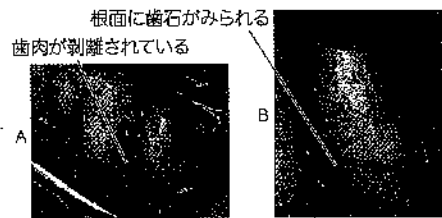
次に行う処置で考えられるのはどれか。1 つ選べ。

- a SRP
- b 縫合
- c 歯槽骨整形
- d 歯周組織再生治療剤の塗布

別冊 午後 No.10A、B

選択肢考察

答え a



- a 口腔内写真を見ると、歯肉が剥離されているが根面に歯石が付着している。したがって、SRPを行う。
- ×b 縫合は歯周組織再生治療剤の塗布後に行う。
- ×c 歯槽骨整形は骨隆起などに行う。
- ×d 根面の SRP が終了し、歯根面の処理を行ってから歯周組織再生治療剤の塗布を行う。

〔問題 45〕 46 歳の女性。上顎右側第二小臼歯の違和感を主訴として来院した。慢性歯周炎と診断され、歯周基本治療を行った。再評価時のエックス線写真（別冊午後 No.11）と歯周組織検査結果の一部（別冊午後 No.12）を別に示す。歯周外科治療を行うことになった。

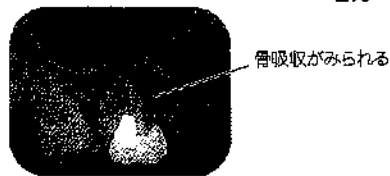
考えられる術式はどれか。1 つ選べ。

- a ENAP
- b フラップ手術
- c 遊離歯肉移植術
- d 歯肉弁根尖側移動術

別冊 午前 No.11  
No.12

選択肢考察

答え b



段階 (Miller の分類)		4	0	0
牙冠露出 (mm)		4	4	5
頬側	PPD (mm)	3	3	3
舌側	PPD (mm)	3	3	3
合計	PPD (mm)	6	6	6
頬側	PPD (mm)	3	3	3
舌側	PPD (mm)	3	3	3

○印：ブローピング時の出血

- ×a ENAP は 3～5mm 程度の骨縁上ポケットに用いる。骨縁下ポケットには使用しない。
- b フラップ手術は 4mm 以上のポケットが残存しており、器具が到達しにくい場合に用いる。本症例に行う歯周外科治療としてフラップ手術が考えられる。
- ×c、×d 遊離歯肉移植術や歯肉弁根尖側移動術は角化歯肉・付着歯肉が少ない症例などに用いる歯周形成手術である。

〔問題 46〕 75 歳の女性。咀嚼困難を主訴として来院した。上下顎精密印象採得後に製作した装置の写真（別冊午後 No.13）を別に示す。

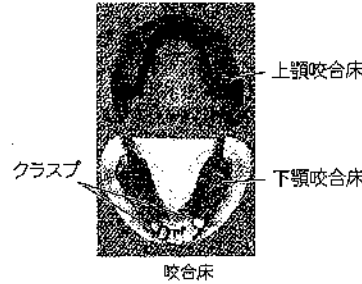
この装置の目的はどれか。2 つ選べ。

- a 咬合圧の測定
- b 人工歯の排列
- c 咀嚼機能の検査
- d 顎間関係の記録

別冊 午後 No.13

選択肢考察

答え b d



- ×a 咬合圧の測定には咬合力測定システム、感圧シートを使用する。
- b 写真の装置は咬合床である。咬合採得後、咬合床に人工歯を排列していく。
- ×c 咀嚼機能の検査にはグルコース分析装置を使用する。
- d 顎間関係の記録には咬合床や咬合採得材を用いる。

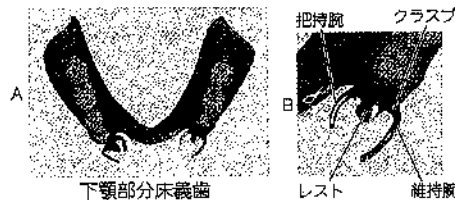
〔問題 47〕 下顎部分床義歯の写真（別冊午後 No.14A）とその一部を拡大した写真（別冊午後 No.14B）を別に示す。丸で囲んだ部分の役割はどれか。1 つ選べ。

- a 沈下の防止
- b 離脱の防止
- c 水平的動揺の防止
- d 咬合力伝達の防止

別冊 午後 No.14A、B

選択肢考察

答え b



- ×a 沈下の防止はレストの役割である。
- b 離脱の防止は維持腕の鉤尖部の役割である。
- ×c 水平的動揺の防止は隣接面板や把持腕の役割である。
- ×d 咬合力伝達は防止するのではなく行うべきで、レストの役割である。

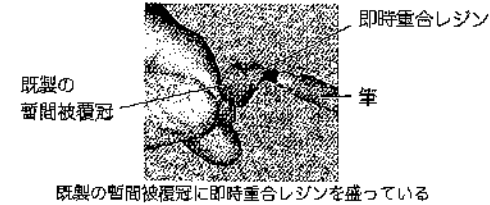
〔問題 48〕 上顎前歯部の支台歯形成終了後、治療に用いた装置の写真（別冊午後 No.15）を別に示す。本装置の目的はどれか。2 つ選べ。

- a 色調の選択
- b 支台歯の保護
- c 審美性の確保
- d 精密印象の採得

別冊 午後 No.15

選択肢考察

答え b c



- ×a 色調の選択にはシェードガイドを用いる。
- b、○c 写真の装置はプロビジョナルレストレーション（テンポラリークラウン）である。目的は、支台歯および歯周組織の保護、審美性の確保、咬合機能の維持、隣接接触関係の維持、対合歯の移動防止、歯肉圧排、咀嚼・発音機能の維持改善、最終補綴装置の設計の参考などである。
- ×d 精密印象の採得には個人トレー、個歯トレーなどを用いる。

〔問題 49〕 血球検査において、血小板の減少がみられるのはどれか。1 つ選べ。

- a 血友病
- b 血小板無力症
- c 播種性血管内凝固症候群
- d von Willebrand 病（フォン・ウィルブラント病）

選択肢考察

答え c

- ×a 血友病 A は第Ⅷ因子欠乏、血友病 B は第Ⅸ因子欠乏による血液凝固の異常が原因である。血小板の減少はみられない。
- ×b 血小板無力症は血小板凝集因子の欠損が原因で血小板機能異常が起こり、出血時間が延長する。血小板の減少はみられない。
- c 播種性血管内凝固症候群（DIC）は全身の血管に血栓が多発し、血小板と凝固因子を消費して出血時間が延長する。血小板数の減少、全血凝固時間延長、出血時間延長、毛細血管透抗試験陽性がみられる。
- ×d von Willebrand 病（フォン・ウィルブラント病）は von Willebrand 因子欠乏による血液凝固の異常が原因である。血小板の減少はみられない。

〔問題 50〕 55 歳の男性。上顎右側第一大臼歯の疼痛を主訴として来院した。歯根破折が認められたため、局所麻酔下に近心頰側根の抜歯が行われたところ、抜歯窩からの持続的出血を認めため、止血剤を抜歯窩に挿入した。挿入後の口腔内写真（別冊午後 No.16）を別に示す。

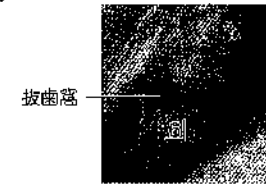
止血のために使用できるのはどれか。2 つ選べ。

- a 酸化セルロース
- b トラネキサム酸
- c ゼラチンスポンジ
- d 塩化ベンゼトニウム

別冊 午後 No.16

選択肢考察

答え a c



- a 酸化セルロースは局所性止血剤である。抜歯窩の止血剤として使用できる。
- ×b トラネキサム酸は全身性止血剤の 1 つである抗プラスミン薬である。抜歯窩の止血には使用しない。
- c ゼラチンスポンジは局所性止血剤である。抜歯窩の止血剤として使用できる。
- ×d 塩化ベンゼトニウムは陽イオン界面活性剤（逆性石けん）であり、手指、粘膜、創傷面、器具の消毒に使用される。抜歯窩の止血には使用しない。

〔問題 51〕 65 歳の男性。下顎右側第一大臼歯の疼痛を主訴として来院した。既往歴として慢性閉塞性肺疾患があるという。急性化膿性歯髄炎と診断され、局所麻酔下にて抜歯が行われることになった。処置中に患者に装着した機器の写真（別冊午後 No.17）を別に示す。

測定しているのはどれか。2 つ選べ。

- a 脈拍
- b 脈圧
- c 収縮期血圧
- d 経皮的動脈血酸素飽和度

別冊 午後 No.17

選択肢考察

答え a d



- a パルスオキシメータでは脈拍（写真では 73）が測定できる。
- ×b 脈圧とは収縮期血圧と拡張期血圧の差である。パルスオキシメータでは測定できない。
- ×c 収縮期血圧はパルスオキシメータでは測定できない。
- d パルスオキシメータでは経皮的動脈血酸素飽和度（写真では 97）が測定できる。

〔問題 52〕 45 歳の女性。右側頬粘膜部の痛みを主訴として来院した。2 週前に頬粘膜の異常に気付き、接触痛を自覚するようになったという。両側の頬粘膜部に網状の白色病変を認めた。口腔内写真（別冊午後 No.18）を別に示す。

考えられるのはどれか。1 つ選べ。

- a 天疱瘡
- b 帯状疱疹
- c 扁平苔癬
- d ヘルパンギーナ

別冊 午後 No.18

選択肢考察



答え c

頬粘膜部に網状の白色病変を認める

- × a 天疱瘡は口腔粘膜や皮膚に難治性の水疱やびらんが生じる。皮膚や粘膜を擦過すると表皮が剥離するニコルスキー現象がみられる。
- × b 帯状疱疹は水痘、帯状疱疹ウイルス (VZV) による感染が原因である。三叉神経の走行に一致して、皮膚・粘膜に小水疱が片側性に帯状に出現する。神経痛様疼痛がみられる。
- c 扁平苔癬は白色の網状、びらん状、萎縮状の慢性炎症性角化病変である。口腔粘膜の灼熱感、接触痛がみられる。40歳以上の女性、両側の頬粘膜に好発する。
- × d ヘルパンギーナはコクサッキーウイルスA4を主体とするエンテロウイルスによる感染が原因である。夏から秋に多く、幼児にみられる。発熱があり、軟口蓋や咽頭部に多数の小水疱を形成し、嚥下痛がみられる。

(問題 53) 矯正歯科治療で撮影されたエックス線写真 (別冊午後 No.19) を別に示す。

評価できるのはどれか。1つ選べ。

- a 歯数の異常
- b 上下顎骨の左右の対称性
- c 上下顎骨の前後的位置関係
- d アーチレングスディスクレパンシー

別冊 午後 No.19

選択肢考察



答え c

側面頭部エックス線規格写真

- × a 側面頭部エックス線規格写真で歯数の異常は評価できない。
- × b 上下顎骨の左右の対称性は側面頭部エックス線規格写真ではなく、正面頭部エックス線規格写真で評価できる。
- c 上下顎骨の前後的位置関係は側面頭部エックス線規格写真で評価できる。
- × d 側面頭部エックス線規格写真でアーチレングスディスクレパンシーは評価できない。

(問題 54) 上顎歯列模型側面観の写真 (別冊午後 No.20) を別に示す。

Angleの不正咬合の分類で基準となるのはどれか。1つ選べ。

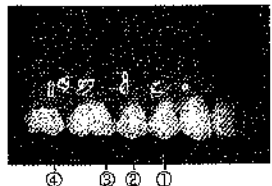
- a ① b ② c ③ d ④

別冊 午後 No.20

選択肢考察

答え c

選択肢考察



× a、× b、○ c、× d

Angleの不正咬合の分類は上顎第一大臼歯の位置を正しいものとして分類するものであり、上顎第一大臼歯の近心頬側咬頭頂が下顎第一大臼歯の頬面溝に位置するときにAngle I級関係にあるという。したがって、基準となるのは③である。

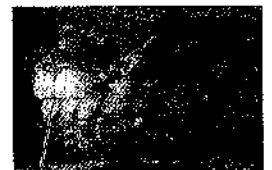
(問題 55) 口腔内写真 (別冊午後 No.21) を別に示す。

上下顎前歯の前後の、垂直的の被蓋関係の評価で正しいのはどれか。1つ選べ。

前後の関係	垂直的關係
a (+)	(+)
b (-)	(+)
c (+)	(-)
d (-)	(-)

別冊 午後 No.21

選択肢考察



答え a

前歯の被蓋関係は、オーバーバイト (垂直的の被蓋関係)、オーバージェット (前後の被蓋関係) とともに (+) である

○ a、× b、× c、× d

口腔内写真をみると、上顎前歯が下顎前歯を覆っており正常被蓋であることがわかる。したがって、上下顎前歯の前後の、垂直的の被蓋関係はどちらも (+) と評価できる。

(問題 56) カウプ指数の計算式はどれか。1つ選べ。

- a [ 体重 (g) / 身長 (m)<sup>2</sup> ] × 10
- b [ 体重 (g) / 身長 (cm)<sup>2</sup> ] × 10
- c [ 体重 (kg) / 身長 (m)<sup>2</sup> ] × 10
- d [ 体重 (kg) / 身長 (cm)<sup>2</sup> ] × 10

選択肢考察

答え b

× a、○ b、× c、× d

カウプ指数は幼児に用いられるものであり、その計算式は [ 体重 (g) / 身長 (cm)<sup>2</sup> ] × 10 である。なお、6歳以上の学童に用いられるローレル指数は [ 体重 (g) / 身長 (cm)<sup>2</sup> ] × 10<sup>4</sup> である。

(問題 57) 4歳の男児。う蝕治療を目的として来院した。保存不可能な乳臼歯が抜去され、装置が装着された。装置装着時の口腔内写真 (別冊午後 No.22) を別に示す。

この装置の目的はどれか。1つ選べ。

- a 垂直的保隙
- b 近遠心的保隙
- c 歯の歯体移動
- d 咀嚼機能の回復

別冊 午後 No.22

選択肢考察



答え b

バンドループが装着されている

- × a バンドループで垂直的保隙はできない。
- b バンドループの目的は近遠心的保隙である。本症例は第一乳臼歯の早期喪失であり、第一小臼歯の萌出スペースの確保を目的としている。
- × c バンドループで歯の歯体移動はできない。
- × d バンドループで咀嚼機能の回復はできない。

(問題 58) 3歳の男児。上顎右側乳中切歯唇側歯肉の腫脹を主訴として来院した。う蝕の進行による化膿性根尖性歯周炎と診断され、根管治療が行われた。症状が軽快し根管充填が行われることになった。

根管充填材を選択するうえで最も留意するのはどれか。1つ選べ。

- a 易感染性
- b 歯根が未完成
- c 高い歯髄活性
- d 生理的な歯根吸収

選択肢考察

答え d

- × a、× b、× c 乳歯の根管充填材を選択するうえで最も留意することは易感染性や歯根が未完成、高い歯髄活性ではない。
- d 乳歯は生理的な歯根吸収が生じる。そのため、乳歯の根管充填材は乳歯の歯根吸収とともに吸収する材料を使用することが重要である。したがって、乳歯の根管充填材を選択するうえで最も留意することは生理的な歯根吸収といえる。

(問題 59) 75歳の女性。食べにくいことを主訴として来院した。脳幹梗塞の後遺症により右側の舌に麻痺が生じたため、舌接触補助床が製作された。口腔内に装着した写真 (別冊午後 No.23) を別に示す。

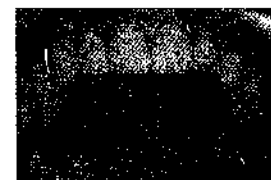
改善できるのはどれか。1つ選べ。

- a 口腔への取り込み
- b 口腔から咽頭への送り込み
- c 咽頭から食道への送り込み
- d 食道から胃への送り込み

別冊 午後 No.23

選択肢考察

答え b



舌接触補助床

× a、○ b、× c、× d

舌接触補助床は切除や運動障害を原因とした著しい舌の機能低下により、舌と硬・軟口蓋の接触が得られない患者に対して用いる「上顎義歯口蓋部を肥厚させた装置」、または「口蓋部分を覆う装置」である。舌接触補助床を装着することで、食塊の口腔から咽頭への送り込みが改善する。

(問題 60) パーキンソン病の主症状はどれか。2つ選べ。

- a 多弁
- b 無表情
- c 筋肉の弛緩
- d 手足の震え

選択肢考察

答え b d

- × a、× c パーキンソン病では多弁や筋肉の弛緩はみられない。
- b パーキンソン病では仮面様顔貌 (無表情) がみられる。
- d パーキンソン病では不随意運動 (安静時振戦) (手足の震え) や筋強剛 (筋固縮)、無動・寡動 (動作緩慢)、姿勢反射障害の四大症状がみられる。

(問題 61) 8歳の男児。自閉スペクトラム症であるという。小児歯科外来で歯科衛生士が口腔清掃を行っている場面の写真 (別冊午後 No.24) を別に示す。

患児が口腔清掃中にヘッドホンにより遮断しているのはどれか。2つ選べ。

- a 指示
- b 説明
- c 子どもの泣き声
- d 治療用機器の音

別冊 午後 No.24

選択肢考察

答え c d



ヘッドホンを装着している

- × a、× b ヘッドホンで指示や説明を遮断しているわけではない。
- c、○ d 自閉スペクトラム症の児童は環境変化への対応が不得手のため、ヘッドホンにより子どもの泣き声や治療用機器の音を遮断して口腔清掃を行う。

(問題 62) 32歳の男性。知的能力障害があつて障害者の施設に通所している。歯科健診で歯肉の腫脹と口臭を指摘され、施設職員と一緒に来院した。初診時の口腔内写真 (別冊午後 No.25) を別に示す。

服用を疑う薬はどれか。1つ選べ。

- a アスピリン
- b メチシリン
- c フェニトイン
- d ワルファリンカルウム

別冊 午後 No.25

選択肢考察

答え c



歯肉増殖がみられる

× a、× b、× d アスピリンやメチシリン、ワルファリンカリウムを服用しても、副作用として歯肉増殖はみられない。  
○ c フェニトイン（抗てんかん薬）を服用することで、副作用として歯肉増殖がみられることがある。

**〔問題 63〕** 歯の付着物で生体防御作用をもつのはどれか。1つ選べ。  
a 歯石  
b ステイン  
c プラーク  
d ペリクル

**選択肢考察** 答え d  
× a 歯石はプラークリテンションファクターである。  
× b ステインは審美障害の原因となる。  
× c プラークはう蝕や歯周病の原因となる。  
○ d ペリクルは歯面を物理的損傷から保護し、脱灰の抑制作用などがあるため、生体防御作用をもつ歯の付着物である。

**〔問題 64〕** 口臭の官能試験で「かろうじて悪臭と認識できる」のはどれか。1つ選べ。  
a スコア0  
b スコア1  
c スコア2  
d スコア3

**選択肢考察** 答え c  
× a 口臭の官能試験でスコア0は「嗅覚値以上の臭いを感じない」ものである。  
× b 口臭の官能試験でスコア1は「嗅覚値以上の臭いを感じすが悪臭と認識できない」ものである。  
○ c 口臭の官能試験でスコア2は「かろうじて悪臭と認識できる」ものである。  
× d 口臭の官能試験でスコア3は「悪臭と容易に判定できる」ものである。

**〔問題 65〕** 喫煙者にみられる歯肉組織の特徴はどれか。2つ選べ。  
a 歯肉辺縁部の浮腫  
b 口蓋側の深い歯周ポケット  
c 歯肉へのメラニン色素沈着  
d 歯肉辺縁部からの出血増加

**選択肢考察** 答え b c  
× a 喫煙者では歯肉辺縁部の浮腫ではなく、線維性肥厚が生じやすい。  
○ b 喫煙者では口蓋側に深い歯周ポケットが生じやすい。  
○ c 喫煙者では歯肉へのメラニン色素沈着がみられやすい。  
× d 喫煙者では歯肉辺縁部からの出血は生じにくい。

**〔問題 66〕** 歯周病のリスク評価に用いるのはどれか。1つ選べ。  
a 唾液 pH  
b 唾液緩衝能  
c 唾液粘稠度  
d 唾液中潜血反応

**選択肢考察** 答え d  
× a、× c 唾液 pH や唾液粘稠度は歯周病のリスク評価に用いられない。  
× b 唾液緩衝能はう蝕のリスク評価に用いられる。  
○ d 唾液中潜血反応は歯周病のリスク評価に用いられる。

**〔問題 67〕** 歯周プローブを使用するのはどれか。2つ選べ。  
a CPI  
b GBI  
c PHP  
d PMA Index

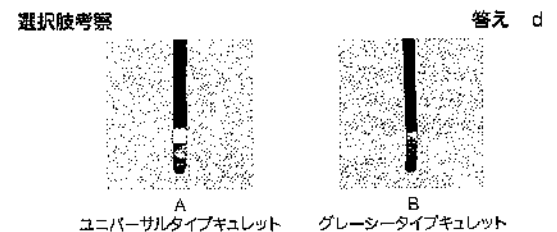
**選択肢考察** 答え a b  
○ a CPI は CPI プローブを使用して、歯肉出血や歯周ポケットを評価する。  
○ b GBI は歯周プローブを挿入し、歯肉出血の有無を調べる。  
× c PHP は口腔清掃状態の指数で、歯周プローブは使用しない。  
× d PMA Index は歯周炎の広がり検査するものであり、歯周プローブは使用しない。

**〔問題 68〕** SRP 後の歯面研磨で正しいのはどれか。2つ選べ。  
a 粗織面の滑沢化  
b 歯肉の再付着を促進  
c プラークの再付着を予防  
d 象牙質知覚過敏症の抑制

**選択肢考察** 答え a c  
○ a SRP 後の歯面研磨は粗織面を滑沢化するものである。  
× b SRP 後の歯面研磨は歯肉の再付着を促進するものではない。  
○ c SRP 後の歯面研磨はプラークの再付着を予防するものである。  
× d SRP 後の歯面研磨は象牙質知覚過敏症を抑制するものではない。

**〔問題 69〕** ペリオドンタルキュレットの写真(別冊午後 No.26 A、B)を別に示す。  
B に比較して A の特徴はどれか。1つ選べ。  
a 仕上げ用に用いる。  
b 刃部内角が鋭角である。  
c オフセットブレードを有している。  
d 刃部の両側にカッティングエッジがある。

別冊 午後 No.26A、B



× a グレーシータイプキュレットと比較したユニバーサルタイプキュレットの特徴は仕上げ用に用いることではない。  
× b グレーシータイプキュレットと比較したユニバーサルタイプキュレットの特徴は刃部内角が鋭角であることではない。  
× c オフセットブレードを有しているのはグレーシータイプキュレットの特徴である。  
○ d 刃部の両側にカッティングエッジがあるのは、グレーシータイプキュレットと比較したユニバーサルタイプキュレットの特徴である。

**〔問題 70〕** スケーラーを把持した写真(別冊午後 No.27)を別に示す。

フィンガーレストを設定するのはどれか。1つ選べ。  
a 拇指  
b 示指  
c 中指  
d 薬指

別冊 午後 No.27

**選択肢考察** 答え a



スケーラーを掌握状に把持し、拇指で固定している。

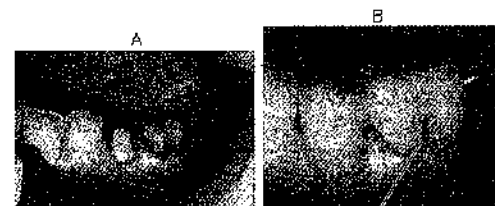
○ a、× b、× c、× d  
スケーリングの際は、スケーラーを執業状変法で把持し、薬指をフィンガーレスト(手指固定)に用いる。しかし、写真を見るとスケーラーを掌握状で把持していることから、本問ではスケーラー研磨時の固定と考えられるが、スケーラーの研磨時には掌握状で把持したスケーラーを拇指で固定しているといえる。

**〔問題 71〕** 60歳の女性。下顎左側臼歯部の疼痛を訴えて来院した。慢性歯周炎と診断され、歯周治療が行われた。歯周外科治療後の口腔内写真(別冊午後 No.28A)と口腔機能回復治療後の口腔内写真(別冊午後 No.28B)を別に示す。

SPT 時に矢印で示した部位に使用するグレーシータイプキュレットはどれか。2つ選べ。  
a # 7  
b # 8  
c # 11  
d # 12

別冊 午後 No.28A、B

**選択肢考察** 答え b d



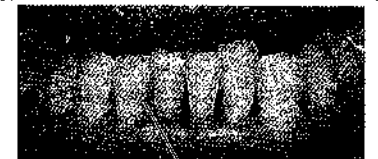
矢印の部位は下顎左側臼歯部の近心頬側である  
× a、○ b、× c、○ d  
口腔内写真の矢印の部位は下顎左側臼歯部の近心頬側部である。したがって、この部位のスケーリングに使用するグレーシータイプキュレットの組合せは #8 と #12 である。

**〔問題 72〕** 55歳の男性。メインテナンスのため来院した。歯科医師より歯面研磨の指示を受けた。口腔内写真(別冊午後 No.29)を別に示す。

使用する器具・器材はどれか。2つ選べ。  
a 研磨用ディスク  
b スーパーフロス  
c シリコンポイント  
d ポリッシングブラシ

別冊 午後 No.29

**選択肢考察** 答え b d



下顎前歯に着色がみられる

× a、× c 研磨用ディスクやシリコンポイントはコンポジットレジン修復の研磨などに使用する。  
○ b スーパーフロスは隣接面、接触点下の歯面研磨に用いる。  
○ d ポリッシングブラシは歯面研磨に用いる。

**〔問題 73〕** う蝕発病因子の評価で環境因子はどれか。1つ選べ。

a 口腔細菌数  
b 砂糖摂取量  
c 歯列の叢生  
d 唾液緩衝能

**選択肢考察** 答え b

× a 口腔細菌数はう蝕発病因子の細菌因子である。  
○ b 砂糖摂取量はう蝕発病因子の環境因子である。  
× c 歯列の叢生はう蝕発病因子の宿主因子である。  
× d 唾液緩衝能はう蝕発病因子の宿主因子である。

**〔問題 74〕** 12歳の女児。4か月の定期健康診査で来院した。患者の前回と今回来院時のカリエスリスク検査結果を表に示す。前回よりカリエスリスクが改善されたのはどれか。2つ選べ。

選択肢	項目	前回	今回
a ①	RDテスト <sup>®</sup>	青色	紫色
b ②	②		
c ③	唾液分泌速度	1.8 mL/分	1.0 mL/分
d ④	Dentocult <sup>®</sup> -SM	Class 2	Class 1
	カリオスタット <sup>®</sup>	黄緑色	緑色

**選択肢考察** 答え c d

× a ①をみると、前回の RD テスト<sup>®</sup> が青色であったが、今回は紫色に変化している。つまり、Low から Middle に変化しているため、カリエスリスクは悪化したと考えられる。  
× b ②をみると、前回と比較して唾液分泌速度が低下している。つまり、カリエスリスクは悪化したと考えられる。  
○ c ③をみると、前回と比較して Dentocult<sup>®</sup>-SM の Class が低値を示している。つまり、カリエスリスクは改善されたと考えられる。  
○ d ④をみると、前回のカリオスタット<sup>®</sup> が黄緑色であったが、今回は緑色に変化している。つまり、カリエスリスクは改善されたと考えられる。

(問題 75) 週1回法のフッ化物洗口液を200mL 作製するために必要なフッ化ナトリウムの粉末量はどれか。1つ選べ。  
 a 0.2g  
 b 0.4g  
 c 2.0g  
 d 4.0g

選択肢考察 答え b  
 × a、○ b、× c、× d

週1回法のフッ化物洗口液は0.2%フッ化ナトリウム溶液である。0.2%フッ化ナトリウム溶液中のフッ化ナトリウム量は2.0mg/1mLであるため、200mLの0.2%フッ化ナトリウム溶液を作製するためのフッ化ナトリウムの粉末量は、 $200\text{mL} \times 2.0\text{mg}/1\text{mL} = 400\text{mg} = 0.4\text{g}$ である。

(問題 76) う蝕予防としてフッ化物洗口の効果的な実施時期はどれか。2つ選べ。  
 a 2～3歳  
 b 4～6歳  
 c 7～15歳  
 d 16～18歳

選択肢考察 答え bc  
 × a、○ b、○ c、× d

厚生労働省の「フッ化物洗口ガイドライン」では、「特に4歳から開始し、14歳まで継続することが望ましい」とされている。したがって、選択肢の中からう蝕予防としてフッ化物洗口の効果的な実施時期を選べるとすれば、4～6歳および7～15歳となる。

(問題 77) 6歳の女兒。奥歯の歯ぐきが気になることを主訴として来院した。う蝕リスクが高いとの診断で歯科医師の指導により下顎左側第一大臼歯に可及的に小窩裂溝充填を行うことになった。口腔内写真(別冊午後No.30)を別に示す。填塞前に行うのはどれか。2つ選べ。  
 a 咬合調整  
 b 歯面清掃  
 c 水洗・乾燥  
 d ラバーダム防湿

別冊 午後 No.30

選択肢考察 答え bc



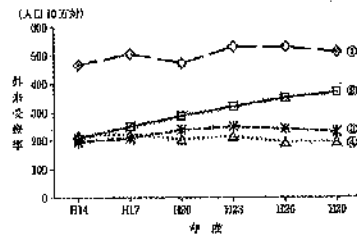
歯肉弁で覆われている

× a 咬合状態の確認、調整は小窩裂溝充填後に行うものである。  
 ○ b、○ c 小窩裂溝充填前には歯面清掃および水洗・乾燥を行う。  
 × d 小窩裂溝充填前にラバーダム防湿を行うことを有効であるが、本症例では第一大臼歯が萌出途中で歯肉弁で覆われている。したがって、ラバーダム防湿を行うことができないため、ロールワッテを用いた簡易防湿を行う。

(問題 78) 17歳の男子。口臭を主訴として来院した。O'LearyのPCRは45%で、軽度の歯肉炎と診断された。歯科医師より歯科保健指導をするよう指示を受けた。ブラッシング指導とともに、洗口剤の使用法の指導を行った。正しいのはどれか。2つ選べ。  
 a 10～20mL程度口に含む。  
 b 30秒間洗口する。  
 c 洗口後に歯磨きを行う。  
 d 洗口後は水で十分含嗽する。

選択肢考察 答え ab  
 ○ a 洗口剤の適量は10～20mL程度である。  
 ○ b 30秒間洗口するのが適切である。  
 × c 洗口後に歯磨きを行うと、洗口剤の効果が発揮されない。  
 × d 洗口後に水で十分含嗽すると、洗口剤の効果が発揮されない。

(問題 79) 患者調査における外来患者受療率を図に示す。  
 (人口10万人)  
 ②はどれか。1つ選べ。  
 a 歯の補綴  
 b 高血圧性疾患  
 c 急性上気道感染症  
 d 歯肉炎および歯周疾患



選択肢考察 答え d  
 × a ③は歯の補綴である。  
 × b ①は高血圧性疾患である。  
 × c ④は急性上気道感染症である。  
 ○ d ②は歯肉炎および歯周疾患である。

(問題 80) 85歳の女性。定期健康診査を目的として来院した。散歩を日課としているが、半年前から、かかりつけの内科で処方された高血圧の薬を飲み忘れることが多くなったり、自宅での料理を失敗することが増えたという。食事や衣服の着替えは一人でできるという。障害高齢者の日常生活自立度判定はどれと考えられるか。1つ選べ。  
 a ランクA  
 b ランクB  
 c ランクC  
 d ランクJ

障害高齢者の日常生活自立度判定はどれと考えられるか。1つ選べ。  
 a ランクA  
 b ランクB  
 c ランクC  
 d ランクJ

選択肢考察 答え d  
 × a、× b、× c、○ d  
 定期健康診査を目的として来院しており、散歩を日課としているため、障害高齢者の日常生活自立度判定はランクJである。

生活自立	ランク	何らかの障害などを有するが、日常生活はほぼ自立しており自力で外出する
生活自立	ランクJ	1. 交通機関などを利用して外出する 2. 隣近所へなら外出する
半独立	ランクA	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない 1. 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する 2. 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている

寝たきり	ランク	国内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座席を保つ
	ランクB	1. 車いすに移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う 2. 介助により車いすに移乗する
	ランクC	1. 日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要する 2. 自力で寝返りをうつ
	ランクD	1. 自力で寝返りをうつ 2. 自力では寝返りも出来ない

(問題 81) 乳児の保護者に対する適切な口腔保健指導はどれか。2つ選べ。  
 a 授乳方法  
 b 口腔習癖の指導  
 c フッ化物洗口の推奨  
 d 乳歯の萌出時期の説明

選択肢考察 答え ad  
 ○ a 乳児の保護者に対する口腔保健指導では授乳方法を指導する。  
 × b 口腔習癖の指導は幼児や児童の保護者に対する口腔保健指導である。  
 × c フッ化物洗口の推奨は幼児や児童の保護者に対する口腔保健指導である。  
 ○ d 乳児の保護者に対する口腔保健指導では乳歯の萌出時期の説明を行う。

(問題 82) 55歳の男性。下顎臼歯部歯肉の腫脹を主訴として来院した。歯科保健指導時の会話を図に示す。

歯科衛生士: 歯肉の腫脹はどのようにですか。  
 患 者: 仕事が忙しくて、家に帰ると疲れて何もする気が起こらないね。  
 歯科衛生士: そうなんです。  
 患 者: 今年から新しいプロジェクトを任されて大変なんだよ。  
 歯科衛生士: それは大変ですね。  
 患 者: 昨日も帰ったのは夜中の12時だったしね。  
 歯科衛生士: 休日はいかがですか。

用いた医療面接の手法はどれか。2つ選べ。  
 a 共感  
 b 傾聴  
 c 動機付け  
 d クローズドクエスチョン

選択肢考察 答え ab  
 ○ a 「それは大変ですね。」と共感している。  
 ○ b 「そうなんです。」と傾聴している。  
 × c 動機付けは用いていない。  
 × d クローズドクエスチョンは用いていない。

(問題 83) 3歳の女兒。保育園の保育士と一緒に3歳児健康診査のため市町村保健センターに来院した。身長90cm、体重8.5kgであった。また、歯科健康診査ですべての歯にう蝕が見つかった。通告先はどれか。1つ選べ。  
 a 警察署  
 b 保健所  
 c 児童相談所  
 d 母子生活支援施設

選択肢考察 答え c  
 × a、× b、○ c、× d  
 3歳の女兒が保護者ではなく保育園の保育士と一緒に市町村保健センターに来院しており、3歳で身長90cm、体重8.5kgと小柄で、歯科健康診査ですべての歯にう蝕が見つかったことからネグレクト(育児放棄)が疑われる。「児

童虐待の防止等に関する法律」では、児童虐待を発見した者すべてが市町村や児童相談所、福祉事務所などに通報の義務がある。

(問題 84) 85歳の女性。食べこぼしが気になり来院した。2年前から関節リウマチの影響による手指関節機能低下と視力低下があり、ブラッシング能力が低下して口腔内環境が悪化しているという。適切な指導はどれか。2つ選べ。  
 a 手鏡の使用  
 b 口唇圧訓練  
 c 歯間ブラシの使用  
 d 定期的な歯科受診

選択肢考察 答え bd  
 × a 関節リウマチの影響による手指関節機能低下と視力低下がみられるため、手鏡の使用は適切でない。  
 ○ b 食べこぼしが主訴のため、口唇圧訓練を指導する。  
 × c 関節リウマチの影響による手指関節機能低下がみられるため、歯間ブラシの使用は適切でない。  
 ○ d 関節リウマチの影響による手指関節機能低下によりブラッシング能力が低下して口腔内環境が悪化しているため、定期的な歯科受診を指導する。

(問題 85) OHI-Sの結果を表に示す。

	フューラ				歯石			
	右臼歯部	前歯部	左臼歯部	計	右臼歯部	前歯部	左臼歯部	計
上顎	2	1	2	5	1	0	3	4
下顎	1	3	1	5	1	0	0	1

OHI-Sの値はどれか。1つ選べ。  
 a 2.5  
 b 5.0  
 c 10.0  
 d 12.0

選択肢考察 答え a  
 ○ a、× b、× c、× d  
 $OHI-S = DI-S + CI-S = (5+5) / 6 + (4+1) / 6 = 2.5$ となる。

(問題 86) 80歳の男性。家族からの依頼で、在宅で口腔衛生管理を行うことになった。口腔内写真(別冊午後No.31)を別に示す。まず、①保湿剤で剥離上皮を湿潤させ、②乾いたスポンジブラシを使用して除去した。その際に、③口蓋の手前から奥にむかつて、④スポンジブラシの胎腹を回転させながら動かした。下線部分で適切なのはどれか。2つ選べ。  
 a ① b ② c ③ d ④

別冊 午後 No.31

選択肢考察 答え ad



乾燥皮が附着している

○ a 口腔内写真から乾燥皮がみられるため、保湿剤で剥離上皮を湿潤させる。

- × b 口腔内写真から乾燥痕がみられるため、湿潤させたスポンジブラシを使用する。
- × c スポンジブラシは口蓋の奥から手前に向かって使用する。
- d スポンジブラシの軸は回転させながら動かす。

**(問題 87)** 36歳の男性。ブラッシング時の出血を主訴として来院した。歯科医師より歯科保健指導を指示された。職場の人間関係がストレスの原因になっているという。ストレスコーピングに関する指導内容で適切なものはどれか。1つ選べ。

- a 転職してみてもいいか。
- b 親しい友人に相談してみてもいいか。
- c 運動と趣味の時間を作ってみてもいいか。
- d 専門医に薬を処方してもらってもいいか。

**選択肢考察** **答え c**

- × a 転職してもストレスコーピングとはならない。
- × b 親しい友人に相談してもストレスコーピングとはならない。
- c 運動と趣味の時間をすることはストレスコーピング(ストレスに対処する方法)となる。
- × d 専門医に薬を処方してもらってもストレスコーピングとはならない。

**(問題 88)** 日本人の食事摂取基準(2015年版)で健康の維持・増進と欠乏症予防のために設定されているのはどれか。1つ選べ。

- a 推奨量
- b 目安量
- c 目標量
- d 耐容上限量

**選択肢考察** **答え a**

- a 推奨量は推定平均必要量を補助する目的として設定され、ほとんどの人が充足している量である。推定平均必要量は摂取不足の回避を目的として設定され、半数の人が必要量を満たす量である。
- × b 目安量は十分な科学的根拠が得られず、推定平均必要量と推奨量が設定できないときに設定され、一定の栄養状態を維持するのに十分な量であり、目安量以上を摂取している場合は不足のリスクはほとんどない。
- × c 目標量は生活習慣病の予防を目的に、「生活習慣病の予防のために現在の日本人が当面の目標とすべき摂取量」として設定される。
- × d 耐容上限量は過剰摂取による健康障害の回避を目的として設定される。

**(問題 89)** 生後10か月で離乳後期に入った乳児への食事指導で適切なものはどれか。1つ選べ。

- a 濃い味つけに慣れさせる。
- b 母乳から人工乳へ切替える。
- c 1日3回の食事を定着させる。
- d 弾力の強い食品を食べさせる。

**選択肢考察** **答え c**

- × a、× b、× d これらは生後10か月で離乳後期に入った乳児への食事指導としては適切でない。
- c 生後10か月で離乳後期に入った乳児への食事指導では、食事のリズムを大切に、1日3回食を定着させる。

**(問題 90)** 86歳の男性。お茶や汁物でのむせを訴えて来院した。座位で常食を食べているが、時々椅子から転落しそうになるという。BMIは18.0、要介護3、咀嚼能力に問題はない。嚥下機能の評価を実施したところ、RSSTは2回であった。食事支援として適切なものはどれか。2つ選べ。

- a 一口量を増やす。
- b 食形態を変更する。
- c 安定した姿勢を確保する。
- d 低カロリーの食事にする。

**選択肢考察** **答え b c**

- × a RSSTは2回(3回未満)でお茶や汁物でむせていることから、誤嚥が疑われるため、食事支援として一口量を増やすのは適切でない。
- b お茶や汁物でむせていることから、誤嚥が疑われるため、食事支援として食形態をとろみ食に変更する。
- c 座位で常食を食べているが、時々椅子から転落しそうになっているため、食事支援として安定した姿勢を確保する。
- × d BMIは18.0(18.5未満)で低栄養が疑われ、RSSTは2回でお茶や汁物でむせていることから、誤嚥が疑われるため、食事支援として少量で高カロリーの食事に変更する。

**(問題 91)** 72歳の男性。食事中、のどに食物が残っている感覚が続いているため来院した。検査の結果、誤嚥はないが、梨状窩に食物が少量残留していることがわかった。有効な訓練法はどれか。1つ選べ。

- a 頬訓練
- b 舌訓練
- c 発声訓練
- d 頭部挙上訓練

**選択肢考察** **答え d**

- × a 頬訓練は頬の機能不全により、口腔前庭に食物残渣がみられるときに行う訓練である。
- × b 舌訓練は舌の異常運動や運動制限などにより、咀嚼や押しつぶしの障害を認めるときに行う訓練である。
- × c 発声訓練は声帯の強化を目的とした訓練である。
- d 頭部挙上訓練(Shaker exercise)は食道入口部の開大不全、前頭筋群の筋力低下がみられるときに行う訓練である。誤嚥はないが、梨状窩に食物が残留しており、咽頭部残留が疑われるため、頭部挙上訓練が有効である。

**(問題 92)** 嚥下障害を疑うのはどれか。2つ選べ。

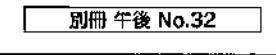
- a 失語症
- b 器質性構音障害
- c 運動障害性構音障害
- d 聴覚障害性構音障害

**選択肢考察** **答え b c**

- × a 失語症では高次脳機能障害を疑う。
- b 器質性(形態的)構音障害では器質性(形態的)嚥下障害を疑う。
- c 運動障害性構音障害では機能性嚥下障害を疑う。
- × d 聴覚障害性構音障害は聴覚障害を疑う。

**(問題 93)** 摂食嚥下障害に対して上顎に装置を製作した。装置の写真(別冊午後No.32)を別に示す。改善できるのはどれか。1つ選べ。

- a 口唇閉鎖不全
- b 舌骨挙上不全
- c 鼻咽腔閉鎖不全
- d 食道入口部開大不全



**選択肢考察** **答え c**

**軟口蓋挙上装置(パラタルリフト)**

- × a 口唇閉鎖不全に対しては口唇訓練を行う。
- × b 舌骨挙上不全に対しては舌訓練を行う。
- c 鼻咽腔閉鎖不全に対してはブローイングを行わせたり、軟口蓋挙上装置(パラタルリフト)を装着したりする。軟口蓋挙上装置は、軟口蓋の運動障害による鼻咽腔閉鎖不全が認められる患者に対して用いられる装置である。
- × d 食道入口部開大不全に対しては頭部挙上訓練(Shaker exercise)やMendelsohn手技を行う。

**(問題 94)** 70歳の女性。最近、薬が飲み込みにくいことを主訴として来院した。8年前より高血圧にて内服治療中であるが、その他の既往はないという。食事時にむせることもあり、食事時に時間が掛かるようになっているという。

この患者に必要な評価方法はどれか。2つ選べ。

- a TCI (Tongue Coating Index)
- b MMSE (Mini Mental State Examination)
- c EAT-10 (The 10-item Eating Assessment Tool)
- d GOHAI (General Oral Health Assessment Index)

**選択肢考察** **答え a c**

- a TCI (Tongue Coating Index)は口腔衛生状態の検査で、舌苔の付着程度を評価する。口腔機能低下症の評価方法の1つである。
- × b MMSE (Mini Mental State Examination)は質問紙による認知機能の評価方法である。
- c EAT-10 (The 10-item Eating Assessment Tool)は質問で構成される嚥下障害のスクリーニング検査である。食事時にむせることがあり誤嚥が疑われるため、EAT-10で評価する。
- × d GOHAI (General Oral Health Assessment Index)は口腔に関連した疾患特異的QOL尺度である。

**(問題 95)** 病棟でのNSTで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a チームカンファレンスを実施する。
- b 医師・歯科医師が指摘した問題点を検討する。
- c 家族にも栄養サポートチーム員になるように勧める。
- d 個々のケースに合わせて栄養管理が不十分な患者に助言を行う。

**選択肢考察** **答え a d**

- a 病棟での栄養支援チーム(NST)ではチームカンファレンスを実施する。
- × b 医師・歯科医師が指摘した問題点以外にも検討する必要がある。

- × c 病棟でのNSTでは家族に栄養サポートチーム員になるようには勧めない。
- d NSTでは個々のケースに合わせて栄養管理が不十分な患者に助言を行う。

**(問題 96)** 水平位診療時、下顎右側臼歯部へのバキューム操作で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 11時の位置から挿入する。
- b チップの切り口は歯面に向ける。
- c チップと本体の接合部を把持する。
- d タービンから出る水を直接吸引する。

**選択肢考察** **答え b c**

- × a 3時の位置から挿入する。
- b チップの切り口はできるだけ歯面に向ける。
- c チップと本体の接合部を把持して、チップがはずれないようにする。
- × d タービンから出る水を直接吸引しないようにする。

**(問題 97)** 消毒薬の適用を表に示す。消毒用エタノールはどれか。1つ選べ。

	消毒の対象		
	手指皮膚	粘膜	器具
a ①	×	×	○
b ②	○	○	×
c ③	○	×	○
d ④	○	○	○

○適用可  
×適用不可

**選択肢考察** **答え c**

- × a ①はグルタルアルデヒドである。
- × b ②はポビドンヨードである。
- c ③は消毒用エタノール、クロルヘキシジングルコン酸塩、次亜塩素酸ナトリウムである。ただし、次亜塩素酸ナトリウムは金属製器具には適用不可である。
- × d ④はベンザルコニウム塩化物、ベンゼトニウム塩化物である。

**(問題 98)** 歯科用石膏の混水比を大きくしたときに起こるのはどれか。1つ選べ。

- a 強度が増す。
- b 表面が粗糙になる。
- c 硬化時間が短くなる。
- d 硬化膨張が大きくなる。

**選択肢考察** **答え b**

- × a 混水比を大きくしたときは、水が多くて粉末が少ないので、強度は減少する。
- b 表面は粗糙になる。
- × c 硬化時間は長くなる。
- × d 硬化膨張は小さくなる。

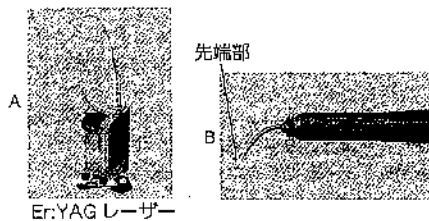
(問題 99) 22歳の女性。う蝕治療を希望して来院した。検査の結果、下顎右側第一大臼歯咬合面の初期う蝕と診断され、コンポジットレジン修復を行うことになった。患者はタービンの音に恐怖を感じるという。歯科医師より準備を指示された機器の写真(別冊午後No.33A)と先端部の写真(別冊午後No.33B)を別に示す。

- 適切なものはどれか。2つ選べ。
- a 試照射する。
  - b 換気を確認する。
  - c 診療室を暗くする。
  - d 防護用ゴーグルを準備する。

別冊 午後 No.33A、B

選択肢考察

答え b d



- × a 試照射するのは歯科医師でなければならない。
- b 煙が発生するので換気を確認する。
- × c 診療室を暗くする必要はなく、通常時の明るさで使用する。
- d 眼や皮膚などの傷害防止に十分留意する必要があり、防護用ゴーグルを着用する。

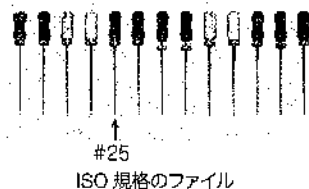
(問題 100) ISO規格のファイル番号順に配列した写真(別冊午後No.34)を別に示す。

- 矢印で示すファイルの先端の直径(μm)はどれか。1つ選べ。
- a 0.25
  - b 2.5
  - c 25
  - d 250

別冊 午後 No.34

選択肢考察

答え d



- × a, × b, × c, ○ d
- ファイルの番号は写真の左から#8、#10、#15、#20、#25(矢印)、#30、#35、#40、#45、#50、#55、#60、#70である。ISO規格ではファイルの先端の直径は番号の1/100mmである。したがって、矢印で示すファイルの先端の直径は、25/100mm=0.25mm=250μmである。

(問題 101) 全部金属冠試適時に使用する器具の写真(別冊午後No.35)を別に示す。□に入る組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- ①が挿入できて、②が挿入できない状態が望ましい。
- ① 赤
  - ② 緑(青)
  - b 黄
  - ③ 赤
  - c 黄
  - ④ 緑(青)
  - d 緑(青)
  - ⑤ 黄

別冊 午後 No.35

選択肢考察

答え d



- × a, × b, × c, ○ d
- 写真の器具はコンタクトゲージである。歯間離閉度(隣接面の接触強さ)を測定する器具である。歯間部に50μmの線(青)色が挿入できて、110μmの黄色が挿入できない状態が望ましい接触状態とされる。

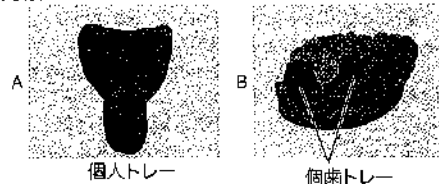
(問題 102) 44歳の女性。上顎左側臼歯部の欠損を主訴として来院した。診断の結果、ブリッジを新製することになった。印象採得時に使用する器材の写真(別冊午後No.36A、B)を別に示す。

- 使用するものはどれか。1つ選べ。
- a 寒天印象材
  - b シリコンゴム印象材
  - c モデリングコンパウンド
  - d 酸化亜鉛ユージノール印象材

別冊 午後 No.36A、B

選択肢考察

答え b



- × a 既製トレーを用いて、寒天アルジネート連合印象採得する際に寒天印象材を使用する。
- b 写真Aは個人トレー、写真Bは個歯トレーでどちらも即時重合レジンで製作する。レジン製の個歯トレーを用いるときはシリコンゴム印象材を使用する。
- × c モデリングコンパウンドは非弾性印象材なので無歯顎患者の印象採得に使用する。ブリッジの印象採得には使用しない。
- × d 酸化亜鉛ユージノール印象材は非弾性印象材なので無歯顎患者の印象採得に使用する。ブリッジの印象採得には使用しない。

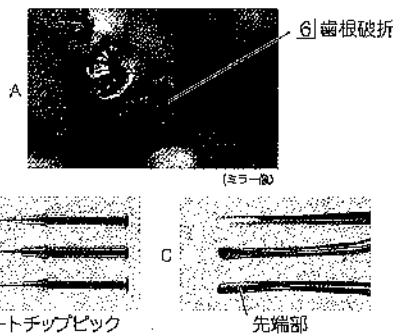
(問題 103) 45歳の女性。上顎右側第一大臼歯の歯根破折で抜歯することになった。初診時の口腔内写真(別冊午後No.37A)、抜歯時に使用した器具のセット(別冊午後No.37B)およびその先端の写真(別冊午後No.37C)を別に示す。

- この名称はどれか。1つ選べ。
- a マイセル
  - b マレット
  - c ラスパトリウム
  - d ルートチップピック

別冊 午後 No.37A、B、C

選択肢考察

答え d



- × a マイセルとは骨ノミのことである。
- × b マレットはマイセルの槌打に使用する金槌状の器具である。
- × c ラスパトリウムとは骨膜剥離子のことである。
- d 写真はルートチップピックである。残根を抜去するために使用する。

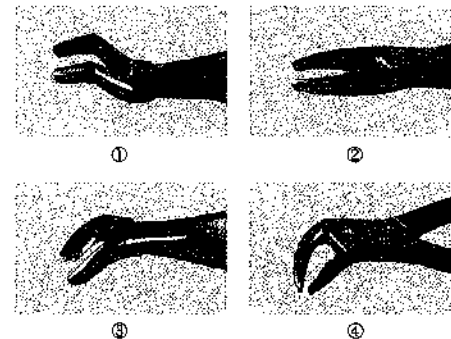
(問題 104) 抜歯鉗子の写真(別冊午後No.38)を別に示す。上顎大白歯に使用するものはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

別冊 午後 No.38

選択肢考察

答え a



- a ①は上顎大白歯用の抜歯鉗子である。
- × b ②は上顎前歯用の抜歯鉗子である。
- × c ③は下顎大白歯用の抜歯鉗子である。
- × d ④は下顎前歯用の抜歯鉗子である。

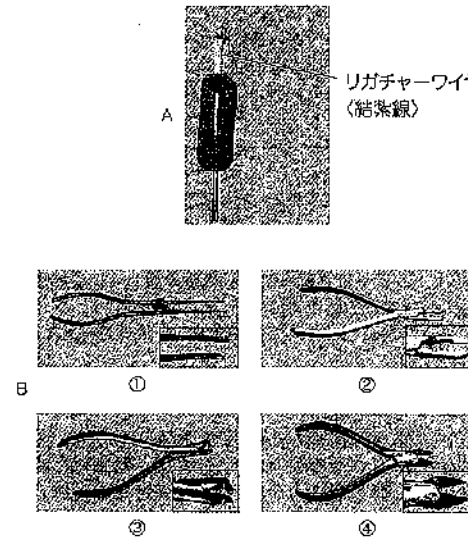
(問題 105) アーチワイヤーをブラケットに結集するのに用いる材料の写真(別冊午後No.39A)と、結集に用いる器具の写真(別冊午後No.39B)を別に示す。

- 適切なものはどれか。1つ選べ。
- a ①
  - b ②
  - c ③
  - d ④

別冊 午後 No.39A、B

選択肢考察

答え a



- a ①はリガチャータイイングプライヤーである。アーチワイヤーをブラケットに結集するのに、写真Aのリガチャーワイヤー(結集線)とリガチャータイイングプライヤーを用いる。
- × b ②はバンドコンタリングプライヤーである。バンド(帯環)の賦形に用いる。
- × c ③はディスタルエンドカッターである。バックルチューブの遠心端から突出しているアーチワイヤーの末端を口腔内で切断するために用いる。
- × d ④はバードピークプライヤーである。細いワイヤーを屈曲するために用いる。

(問題 106) 4歳の女児。歯科健康診断でう蝕を指摘され、歯科治療を希望して来院した。母親から、歯科治療は初めてで不安を抱えていることが告げられた。その他特記すべき全身的な既往はみられない。

- 適切な対応はどれか。2つ選べ。
- a TSD法
  - b 静脈内鎮静法
  - c トークンエコノミー法
  - d ハンドオーバーマウス法

選択肢考察

答え a c

- a TSD(Tell Show Do)法とは、治療に使用するものを説明し(Tell)、見せて>Show)、行う(Do)方法で、不安および恐怖の反応を克服させようとする系統脱感作法の1つである。不安を抱いているとのことなので、適切な対応である。
- × b 静脈内鎮静法は十分な鎮静が得られるため、行動療法や体動コントロール法を用いても、歯科治療ができない非協力児に適用される。
- c トークンエコノミー法とは、あらかじめ決められた行動をするたびにトークン(シールやカード)を与えて、患児

をほめて自信をつけさせていく方法である。歯科治療は初めてということなので適切な対応である。

× d ハンドオーバーマウス法 (HOM 法) とは、号泣する小児の口を手で覆い、術者のいうことを守ったら手で口を覆うのを中止しながらコントロールする方法である。4 歳前後の非協力児に適用される。

(問題 107) 75 歳の女性。認知症を発症しており、訪問診療を行った際に、口腔清掃を嫌がり開口を拒んでいる。顎関節症などの既往はない。対応として、まず①開口器を試みる。不安を取り除くために②声かけをして安心感を与え、③口を開けない原因を探る。さらに開口しない時は④口唇のマッサージを行う。

下線部分で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

選択肢考察 答え bc

× a 開口を拒んでいるので、まずは口腔周囲から遠い部分(膝や腕など)から声かけをしながら触っていき、頸部、顔面、口腔周囲のマッサージを行う。

○ b、○ c 不安を取り除くために声かけをして安心感を与え、口を開けない原因を検討する。

× d さらに開口しない時は K ポイントを圧迫刺激して開口を誘導する。

(問題 108) 55 歳の男性。歯科治療を希望して来院した。脳出血の既往がある。来院時の歩行状態の写真(別冊午後 No.40)を別に示す。歯科医師よりチェアまでの誘導を指示された。

注意するのはどれか。2つ選べ。

- a 右側より介助を行う。
b 患者の歩行速度に合わせて誘導する。
c 可能な限り自力でチェアに座ってもらう。
d 体位調整のためチェアの左側に枕等を置く。

別冊 午後 No.40

選択肢考察 答え bc



× a 歩行状態の写真から右側の麻痺が疑われるが、杖を持って自立歩行が可能なので、右側からの介助は不要である。

○ b 患者は車椅子を必要とせず、杖を持って自立歩行が可能なので、歩行速度に合わせて誘導する。

○ c チェアへの移動は可能な限り自力で行ってもらう。

× d 体位調整のためチェアの右側(麻痺側)に枕などを置いて、側臥位では麻痺側を上にする。

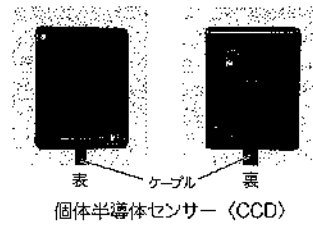
(問題 109) 歯科用エックス線撮影システムに使用する器具の表と裏の写真(別冊午後 No.41)を別に示す。

エックス線フィルムと比較して、この器具の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 形状が大きくなる。
b 被曝量が軽減される。
c 現像操作が必要である。
d コントラストの調整が可能である。

別冊 午後 No.41

選択肢考察 答え bd



× a 写真は固体半導体センサー (CCD、CMOS) である。形状は標準型フィルムと同じかやや小さくなる。

○ b デジタルエックス線撮影なので被曝量が軽減される。

× c デジタルエックス線撮影なので現像操作は不要である。

○ d コントラストの調整が可能で、画質改善処理ができる。

(問題 110) 過換気症候群の症状で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 徐脈
b 筋の硬直
c 血圧低下
d 呼吸困難

選択肢考察 答え bd

× a 頻脈になる。

○ b 筋の硬直がみられる。

× c 血圧はやや上昇する。

○ d 呼吸困難がみられる。